

「戦後80年」県民世論調査

報告書

（2025年6月27日～7月28日調査）

I	目的・設計・回答状況	1
II	調査結果	3
	(i) 単純集計	3
	(ii) 概要	8
	(iii) 集計表	43
	(iv) 記述回答	88
III	調査票	90



一般社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610

<https://www.nagano-yoron.or.jp>

本ホームページでは、報告書の一部を抜粋して掲載しています。長野県世論調査協会の会員の皆様には、報告書を郵送・電子メールでお届けしており、全ての調査結果をご覧いただくことができます。入会のお問い合わせは、[こちら](#)へどうぞ

I 目的・設計・回答状況

◆ 目的

2025 年は、1945 年（昭和 20 年）の太平洋戦争終結から 80 年の節目にあたります。

この間、日本は平和主義を基本理念とする日本国憲法のもと、戦後の復興と発展を遂げてきました。憲法は、戦後体制の根幹として、国のあり方や国民生活に深く関わってきた重要な枠組みです。

近年、安全保障環境の変化を背景に、2015 年には安全保障関連法が成立し、集団的自衛権の限定的な行使が可能となり、2022 年には、反撃能力（敵基地攻撃能力）の保有を明記した国家安全保障戦略等、安保関連 3 文書が策定され、戦後の安全保障政策は新たな局面に入っています。こうした中、憲法のあり方や改正の是非についても冷静な国民議論が欠かせない状況となっています。

また、戦後 80 年を迎え、戦争体験者の高齢化が進む中で、戦争の記憶や歴史の継承が困難になりつつある現状に、私たちはどのように向き合っていくべきかも問われています。

本調査は、戦後 80 年という歴史的節目にあたり、長野県民の意識を多角的に把握し、今後の日本の進路や憲法の役割、さらには平和の継承のあり方を考える一助とすることを目的として行いました。

◆ 設 計

- ▽調査期間 2025（令和 7）年 6 月 27 日（調査票発送）～7 月 28 日（回収締め切り）
- ▽調査対象 長野県内に住む 18 歳以上の男女 1,500 人
- ▽抽出方法 層化三段無作為抽出法。市町村の選挙人名簿から無作為抽出
- ▽調査地点 19 市 10 町 10 村の計 39 市町村
- ▽調査方法 郵送方式。調査票を郵送、回答は郵送、インターネット、ファクスで回収

◆ 回答状況

- ▽有効回答 749 人（男性 337 人 女性 382 人 回答しない 30 人）
- ▽回 答 率 49.9%

【回収方法別の内訳】（ ）内は比率

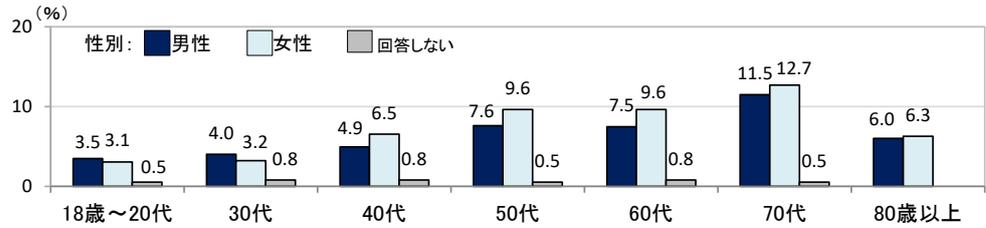
・ 郵送	516 人 (68.9%)
・ インターネット	208 人 (27.8%)
・ ファクス	25 人 (3.3%)

【注】本報告書のパーセント数字は小数点第二位を四捨五入。合計が 100 にならない場合がある。

有効回答の内訳

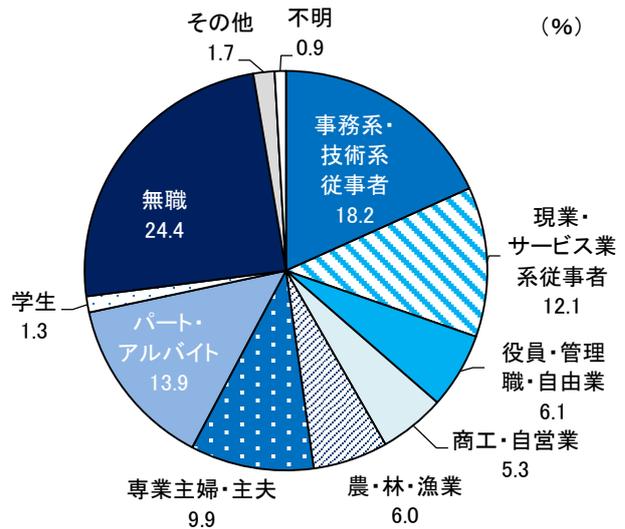
【年代別と性別】

		合計	18歳～20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	
全体	(人)	749	53	60	92	133	134	185	92	
	(%)	100.0	7.1	8.0	12.3	17.8	17.9	24.7	12.3	
性別	男性	(人)	337	26	30	37	57	56	86	45
		(%)	45.0	3.5	4.0	4.9	7.6	7.5	11.5	6.0
	女性	(人)	382	23	24	49	72	72	95	47
		(%)	51.0	3.1	3.2	6.5	9.6	9.6	12.7	6.3
	回答しない	(人)	30	4	6	6	4	6	4	-
		(%)	4.0	0.5	0.8	0.8	0.5	0.8	0.5	-



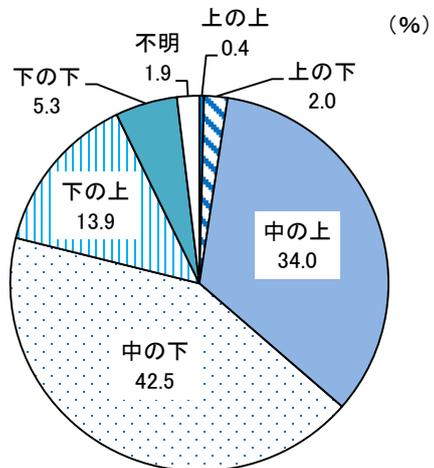
【職業】

	(人)	(%)
事務系・技術系従事者	136	18.2
現業・サービス業系従事者	91	12.1
役員・管理職・自由業	46	6.1
商工・自営業	40	5.3
農・林・漁業	45	6.0
専業主婦・主夫	74	9.9
パート・アルバイト	104	13.9
学生 (高校・高専・専門・大学・大学院・予備校など)	10	1.3
無職	183	24.4
その他	13	1.7
不明	7	0.9
全体	749	100.0



【暮らし向き】

	(人)	(%)
上の上	3	0.4
上の下	15	2.0
中の上	255	34.0
中の下	318	42.5
下の上	104	13.9
下の下	40	5.3
不明	14	1.9
全体	749	100.0



II 調査結果

(i) 単純集計

問1 日本国憲法は、前文と第11章103条からなっています。あなたは、日本国憲法を一部でも読んだことがありますか。

	(人)	(%)
・読んだことがある	371	49.5
・読んだことはない	373	49.8
・不明	5	0.7

問2 (問1で「読んだことがある」とお答えの方にお尋ねします)あなたが、読んだことがあるのはどの項目ですか。読んだことがあるものすべて挙げてください。

	(人)	(%)
・前文	238	64.2
・第一章 天皇	221	59.6
・第二章 戦争の放棄	295	79.5
・第三章 国民の権利及び義務	285	76.8
・第四章 国会	143	38.5
・第五章 内閣	123	33.2
・第六章 司法	101	27.2
・第七章 財政	61	16.4
・第八章 地方自治	85	22.9
・第九章 改正	67	18.1
・第十章 最高法規	59	15.9
・第十一章 補則	47	12.7
・不明	1	0.3

問3 あなたは、憲法をめぐる動きや内容に関心がありますか。

	(人)	(%)
・かなりある	87	11.6
・どちらかと言えばある	338	45.1
・どちらかと言えばない	146	19.5
・ほとんどない	77	10.3
・何とも言えない・わからない	98	13.1
・不明	3	0.4

問4 あなたは、これまで憲法に関する知識や情報を、主として何から得ましたか。あるいは得ていますか。次の中から、2つ以内に絞ってお答えください。

	(人)	(%)
・新聞やテレビで	466	62.2
・学校の授業で	397	53.0
・本や資料を読んで	138	18.4
・インターネットから	120	16.0
・家族や友人から	57	7.6
・講演などの集まりで	30	4.0
・その他	7	0.9
・特に得ていない	33	4.4
・不明	1	0.1

問5 あなたは、今の憲法は全体として見ると、よい憲法だと思いますか、思いませんか。

	(人)	(%)
・よい憲法だと思う	297	39.7
・よい憲法だと思わない	61	8.1
・どちらとも言えない	269	35.9
・わからない	120	16.0
・不明	2	0.3

問6 憲法には、国民主権、平和主義、基本的人権の尊重の3原則があります。あなたは、今の日本では、この3原則が尊重されていると思いますか、思いませんか。

A 国民主権

	(人)	(%)
・大いに尊重されていると思う	56	7.5
・ある程度尊重されていると思う	362	48.3
・あまり尊重されていると思わない	185	24.7
・まったく尊重されていると思わない	47	6.3
・何とも言えない・わからない	83	11.1
・不明	16	2.1

B 平和主義

	(人)	(%)
・大いに尊重されていると思う	98	13.1
・ある程度尊重されていると思う	421	56.2
・あまり尊重されていると思わない	119	15.9
・まったく尊重されていると思わない	26	3.5
・何とも言えない・わからない	73	9.7
・不明	12	1.6

C 基本的人権

	(人)	(%)
・大いに尊重されていると思う	70	9.3
・ある程度尊重されていると思う	407	54.3
・あまり尊重されていると思わない	152	20.3
・まったく尊重されていると思わない	29	3.9
・何とも言えない・わからない	75	10.0
・不明	16	2.1

問7 今の日本では、言論や出版の自由はよく守られていると思いますか、守られていないと思いますか。

	(人)	(%)
・守られている	201	26.8
・守られていない	88	11.7
・一概に言えない	393	52.5
・わからない	64	8.5
・不明	3	0.4

問8 あなたは、今の憲法を改正する必要があると思いますか。

	(人)	(%)
・改正する必要がある	97	13.0
・どちらかと言えば改正する必要がある	241	32.2
・どちらかと言えば改正する必要はない	129	17.2
・改正する必要はない	70	9.3
・何とも言えない・わからない	202	27.0
・不明	10	1.3

問9 (問8で「改正する必要がある」、「どちらかと言えば改正する必要がある」とお答えの方にお尋ねします)憲法を改正するとしたら、あなたは、どの項目に注目しますか。次の中から、2つ以内に絞ってお答えください。

	(人)	(%)
・戦争の放棄	122	36.1
・国民の権利及び義務	109	32.2
・国会	99	29.3
・天皇	66	19.5
・財政	53	15.7
・内閣	49	14.5
・司法	39	11.5
・地方自治	31	9.2
・前文	12	3.6
・その他	7	2.1
・わからない	15	4.4

問10 「改正する必要がある」という理由として、次のA・Bのような考え方について、あなたは、どう思いますか。

A 憲法の規定が実態に合わなくなっているから

	(人)	(%)
・そう思う	402	53.7
・そうは思わない	103	13.8
・何とも言えない・わからない	228	30.4
・不明	16	2.1

B 米国に押し付けられた憲法だから

	(人)	(%)
・そう思う	149	19.9
・そうは思わない	277	37.0
・何とも言えない・わからない	293	39.1
・不明	30	4.0

問11 「改正する必要はない」という理由として、次のA・Bのような考え方について、あなたは、どう思いますか。

A 平和主義を掲げているから

	(人)	(%)
・そう思う	297	39.7
・そうは思わない	98	13.1
・何とも言えない・わからない	243	32.4
・不明	111	14.8

B 現憲法で不都合なことはないから

	(人)	(%)
・そう思う	129	17.2
・そうは思わない	221	29.5
・何とも言えない・わからない	282	37.7
・不明	117	15.6

問12 「知る権利」「プライバシー権」「環境権」などの、新しい権利を憲法に加えるべきだという意見があります。あなたは、どう思いますか。

	(人)	(%)
・憲法を変えて盛り込むべきだ	158	21.1
・法律や制度を充実させ、憲法を変える必要はない	362	48.3
・憲法、法律や制度も今のままでよい	43	5.7
・何とも言えない・わからない	181	24.2
・不明	5	0.7

問13 あなたは、憲法第9条(戦争の放棄)を改正する必要があるについて、どう思いますか。

	(人)	(%)
・改正する必要がある	177	23.6
・改正する必要はない	355	47.4
・何とも言えない・わからない	212	28.3
・不明	5	0.7

問14 憲法第9条を「改正する必要がある」という理由として、次のA～Dのような考え方について、あなたは、どう思いますか。

A 「自衛権と戦力の保持」を明記するべきだから

	(人)	(%)
・そう思う	278	37.1
・そうは思わない	177	23.6
・何とも言えない・わからない	264	35.2
・不明	30	4.0

B 国際的役割として、海外での武力行使をできるようにするべきだから

	(人)	(%)
・そう思う	81	10.8
・そうは思わない	398	53.1
・何とも言えない・わからない	242	32.3
・不明	28	3.7

C 自衛隊の役割や増強に、歯止めとなる規定を設けるべきだから

	(人)	(%)
・そう思う	238	31.8
・そうは思わない	184	24.6
・何とも言えない・わからない	300	40.1
・不明	27	3.6

D 自衛隊の位置づけを明記するべきだから	(人)	(%)
・そう思う	340	45.4
・そうは思わない	118	15.8
・何とも言えない・わからない	263	35.1
・不明	28	3.7

問15 憲法第9条を「改正する必要はない」という理由として、次のA～Dのような考え方について、あなたは、どう思いますか。

A 戦争放棄を掲げているから	(人)	(%)
・そう思う	448	59.8
・そうは思わない	91	12.1
・何とも言えない・わからない	164	21.9
・不明	46	6.1

B 改正すれば、海外での武力行使の歯止めがなくなるから	(人)	(%)
・そう思う	354	47.3
・そうは思わない	135	18.0
・何とも言えない・わからない	209	27.9
・不明	51	6.8

C 改正でなく、憲法解釈の変更で対応できるから	(人)	(%)
・そう思う	216	28.8
・そうは思わない	181	24.2
・何とも言えない・わからない	299	39.9
・不明	53	7.1

D 軍備の増強につながるから	(人)	(%)
・そう思う	268	35.8
・そうは思わない	162	21.6
・何とも言えない・わからない	267	35.6
・不明	52	6.9

問16 憲法改正については、大規模災害や武力攻撃を受けた際などに政府の権限を一時的に強化し、国会議員の任期延長など特別な措置を講じる規定「緊急事態条項」の創設が議論されています。あなたは緊急事態条項の創設についてどう考えますか。

	(人)	(%)
・賛成する	120	16.0
・どちらかと言えば賛成する	279	37.2
・どちらかと言えば反対する	91	12.1
・反対する	62	8.3
・何とも言えない・わからない	191	25.5
・不明	6	0.8

問17 政府は2022年に国家安全保障戦略など安保関連3文書を策定し、他国領域のミサイル基地などを破壊する反撃能力(敵基地攻撃能力)保有を決定しました。これは集団的自衛権の行使を可能にした2015年成立の安全保障関連法に続く政策の大転換となりました。あなたはこの政策をどう受け止めていますか。

	(人)	(%)
・賛成している	98	13.1
・どちらかと言えば賛成している	222	29.6
・どちらかと言えば反対している	126	16.8
・反対している	56	7.5
・何とも言えない・わからない	242	32.3
・不明	5	0.7

問18 自衛隊の存在には合憲、違憲の両論がありますが、あなたは、どう思いますか。

	(人)	(%)
・合憲だと思う	431	57.5
・違憲だと思う	52	6.9
・何とも言えない・わからない	263	35.1
・不明	3	0.4

問19 あなたは、憲法改正に必要な手続きを知っていますか。

	(人)	(%)
・知っている	203	27.1
・知らない	543	72.5
・不明	3	0.4

問20 では、憲法改正について、どう思いますか。

	(人)	(%)
・できるだけ早く改正すべきだ	116	15.5
・時間をかけて議論すべきだ	387	51.7
・改正の必要はない	87	11.6
・何とも言えない・わからない	156	20.8
・不明	3	0.4

問21 「最高法規として国家権力を制限し、国民の権利を保障する」という今の憲法の基本的な考え方を「立憲主義」といいます。あなたは、この立憲主義を知っていますか。

	(人)	(%)
・知っている	325	43.4
・知らない	419	55.9
・不明	5	0.7

問22 では、憲法解釈や憲法改正を議論するにあたり、あなたは、この「立憲主義」について、どう思いますか。

	(人)	(%)
・重視すべきだ	419	55.9
・重視する必要はない	15	2.0
・その他	5	0.7
・何とも言えない・わからない	305	40.7
・不明	5	0.7

問23 あなたは、今の憲法が戦後の日本の平和と繁栄に、どの程度役立ってきたと思いますか。

	(人)	(%)
・かなり役立ってきた	252	33.6
・ある程度役立ってきた	368	49.1
・あまり役立ってこなかった	28	3.7
・まったく役立ってこなかった	10	1.3
・何とも言えない・わからない	88	11.7
・不明	3	0.4

問24 あなたは、これまで続いてきた日米安全保障体制について、今後どうあるべきだと考えますか。

	(人)	(%)
・日米安全保障体制をさらに強化すべきだ	71	9.5
・現在の日米安全保障体制を維持すべきだ	244	32.6
・米国に頼る安全保障体制を見直すべきだ	272	36.3
・何とも言えない・わからない	159	21.2
・不明	3	0.4

問25 日本政府は防衛費と関連経費を2027年度にGDP比2%に増やす方針を決めています。あなたはこの方針に対してどう考えていますか。

	(人)	(%)
・大いに賛成だ	61	8.1
・ある程度賛成だ	253	33.8
・あまり賛成していない	192	25.6
・大いに反対だ	68	9.1
・何とも言えない・わからない	173	23.1
・不明	2	0.3

問26 あなたは将来、日本を巻き込んだ戦争が起きる可能性があると思いますか。

	(人)	(%)
・大いに可能性がある	143	19.1
・ある程度可能性がある	376	50.2
・あまり可能性はない	88	11.7
・まったく可能性はない	14	1.9
・何とも言えない・わからない	127	17.0
・不明	1	0.1

問27 あなたは、太平洋戦争に関係のある次の日を知っていますか。知っているもの全てを選んでください。

	(人)	(%)
・3月10日(東京大空襲)	378	50.5
・5月3日(日本国憲法施行、1947年)	364	48.6
・6月23日(沖縄県慰霊の日)	309	41.3
・8月6日(広島原爆忌)	676	90.3
・8月9日(長崎原爆忌)	643	85.8
・8月13日(長野空襲)	194	25.9
・8月15日(終戦の日)	681	90.9
・9月2日(日本降伏文書調印式)	119	15.9
・11月3日(日本国憲法公布、1946年)	277	37.0
・12月8日(真珠湾攻撃、太平洋戦争開戦日)	385	51.4
・不明	20	2.7

問28 太平洋戦争を経験した世代が減少する中、歴史を継承していくために戦争遺跡を保存・活用すべきだとの意見があります。あなたは以下に示した長野県内の主な戦争遺跡のうち、存在を知っていた遺跡を挙げてください。

	(人)	(%)
・松代大本営地下壕と関連地下壕(長野市)	575	76.8
・安茂里小市の旧海軍地下壕(長野市)	149	19.9
・旧陸軍飛行場(松本市)	117	15.6
・上田飛行場跡(上田市)	113	15.1
・平岡ダム(天龍村)	91	12.1
・旧陸軍歩兵第五十連隊糧秣庫(松本市)	86	11.5
・里山辺軍事工場(松本市)	80	10.7
・中山地区軍事工場(松本市)	48	6.4
・仁古田飛行機製造地下工場跡(上田市)	44	5.9
・旧軍需工場(佐久市)	35	4.7
・万歳塚(松本市)	26	3.5
・大町防空監視哨跡(大町市)	21	2.8
・陸軍戦闘機墜落の地(松川町)	19	2.5
・元大島防空監視哨の跡(松川町)	10	1.3
・監的壕(木島平村)	8	1.1
・その他	17	2.3
・不明	123	16.4

問29 太平洋戦争関連の戦争遺跡について、文化庁の近代遺跡調査で全国から報告のあった642遺跡の約3割が消失または大部分消失していることが昨年わかりました。長野県内では松代大本営地下壕などが現存していますが、松本市の中山地区軍事工場などは大部分が消失していました。戦争遺跡の保存・活用について、あなたはどのように考えますか。

	(人)	(%)
・大いに保存・活用の機運を高めるべきだ	135	18.0
・ある程度保存・活用を考えるべきだ	415	55.4
・あまり保存・活用の必要性を感じない	78	10.4
・保存・活用の必要はない	14	1.9
・何とも言えない・わからない	102	13.6
・不明	5	0.7

問30 長野県では戦時下に都道府県別で最も多い3万3千人が満州(現中国東北部)へ開拓団員として送り出された歴史があります。戦後80年となり、戦争の記憶の継承が難しくなっているとされます。あなたは戦争の歴史が風化していると感じますか。

	(人)	(%)
・かなり風化している	380	50.7
・ある程度風化している	296	39.5
・あまり風化していない	8	1.1
・まったく風化していない	2	0.3
・何とも言えない・わからない	58	7.7
・不明	5	0.7

問31 下伊那郡阿智村の満蒙開拓平和記念館では、続けてきた語り部講演を体験者の減少と高齢化を理由に昨年で一区切りとし、今年からその家族や2世、3世による歴史継承事業に取り組んでいます。あなたは長野県の満蒙開拓の歴史や記憶の継承について、どう考えますか。

	(人)	(%)
・大いに必要	193	25.8
・ある程度必要	373	49.8
・あまり必要でない	39	5.2
・必要ない	12	1.6
・何とも言えない・わからない	127	17.0
・不明	5	0.7

問32 あなたは、戦後80年となり、平和や経済など全般的に日本は、「良い方向」「良くない方向」のどちらに向かっていると思いますか。

	(人)	(%)
・かなり良い方向	26	3.5
・どちらかと言えば良い方向	219	29.2
・どちらかと言えば良くない方向	308	41.1
・まったく良くない方向	78	10.4
・何とも言えない・わからない	115	15.4
・不明	3	0.4

問33 あなたは、石破内閣を支持しますか。

	(人)	(%)
・支持する	42	5.6
・どちらかと言えば支持する	213	28.4
・どちらかと言えば支持しない	267	35.6
・支持しない	214	28.6
・不明	13	1.7

問34 今年夏に参院選があります。あなたは、投票する候補者や政党を決めるときに、憲法改正への考え方を判断材料にしますか、しませんか。

	(人)	(%)
・する	265	35.4
・しない	192	25.6
・何とも言えない・わからない	288	38.5
・不明	4	0.5

問35 あなたは、どの政党を支持していますか。

	(人)	(%)
・自民党	138	18.4
・立憲民主党	97	13.0
・参政党	43	5.7
・国民民主党	34	4.5
・公明党	30	4.0
・れいわ新選組	20	2.7
・日本維新の会	18	2.4
・日本保守党	17	2.3
・共産党	16	2.1
・社民党	10	1.3
・その他の政党・政治団体	12	1.6
・支持する政党はない	298	39.8
・不明	16	2.1

(ii) 概要

憲法を読んだ経験

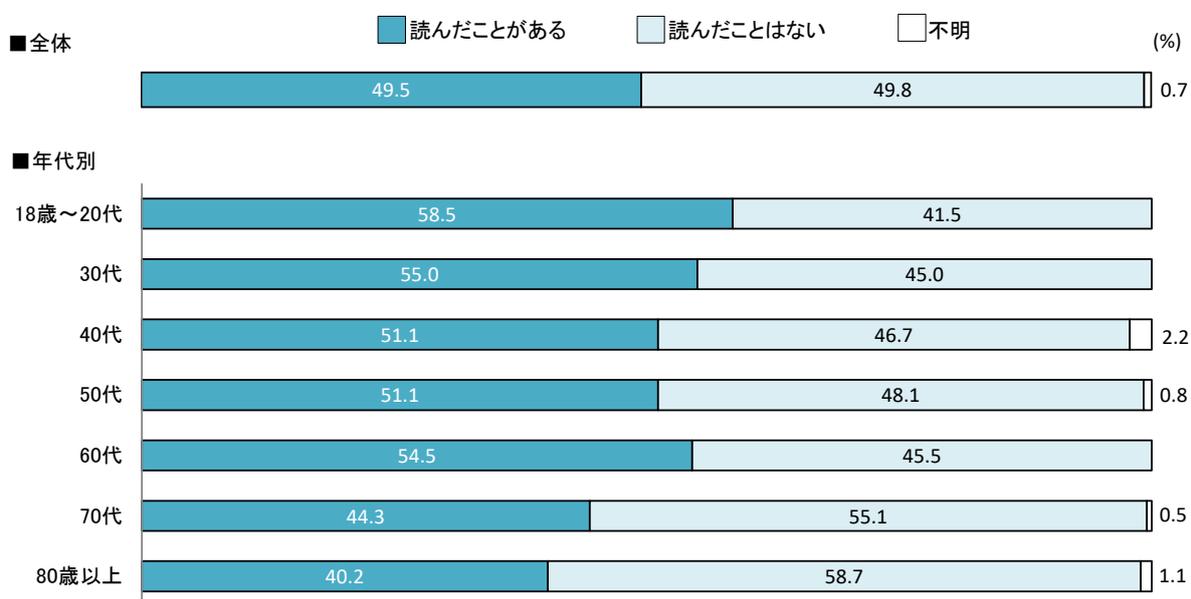
問1 日本国憲法は、前文と第11章103条からなっています。あなたは、日本国憲法を一部でも読んだことがありますか。

集計表43ページ

◆「ある」「ない」が半数ずつ

前文と第11章103条からなる日本国憲法を一部でも「読んだことがある」が49.5%、「読んだことはない」は49.8%と、県民の答えはほぼ半々となった。

若い年代ほど読んでいる傾向があり、「読んだことがある」は18歳～20代が58.5%、30代が55.0%なのに対し、70代は44.3%、80歳以上は40.2%だった。



その項目は

問2 (問1で「読んだことがある」とお答えの方にお尋ねします)
 あなたが、読んだことがあるのはどの項目ですか。読んだことがあるものすべて
 挙げてください。

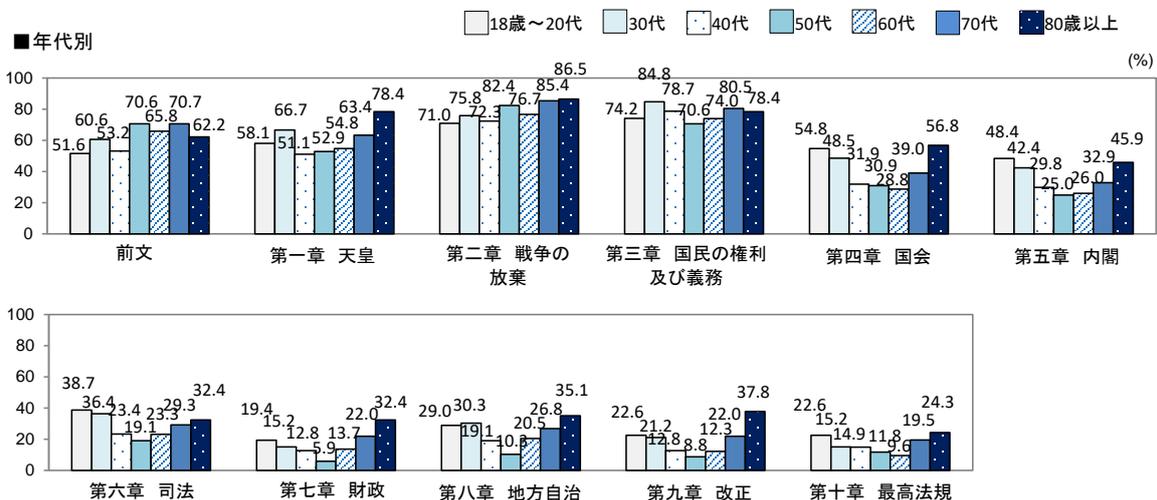
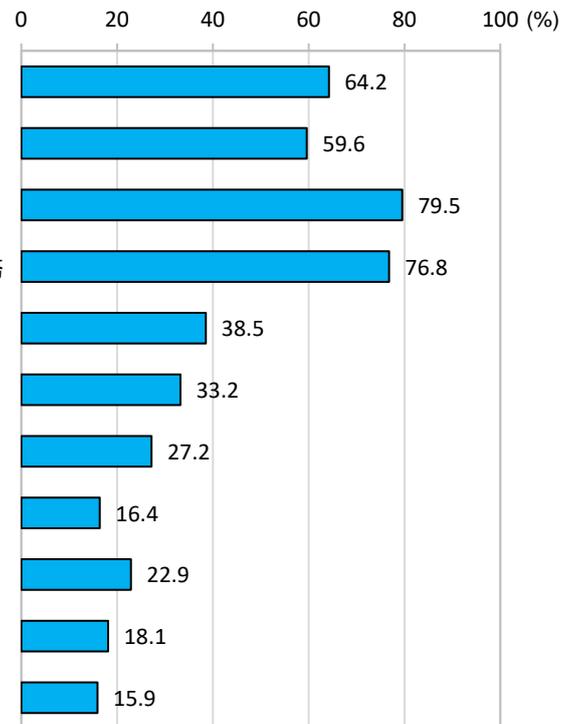
◆読んだことがある項目は「戦争の放棄」トップ80%

集計表44ページ

「読んだことがある」と答えた371人に聞いた内容(複数選択)は、「第二章 戦争の放棄」79.5%、「第三章 国民の権利及び義務」76.8%、「前文」64.2%、「第一章 天皇」59.6%の順で高かった。この4項目以外は4割に満たず、「第四章 国会」38.5%、「第五章 内閣」33.2%と続き、第六章以降はいずれも3割に満たなかった。

年代別にみると、「第二章 戦争の放棄」が最も高い割合となったのは、80歳以上の86.5%。続いて70代(85.4%)、50代(82.4%)、60代(76.7%)。40代以下は「第三章 国民の権利及び義務」が「第2章 戦争の放棄」を上回っている。

(注) 当協会調査「憲法公布70年」(2016年)をみると、同じ質問に対して「第2章 戦争の放棄」を読んだことがあるとの回答は全年代で8割を超え、各項目の中で断然高い値だった。今回の調査では8割を超えたのは80歳以上、70代、50代に限られ、若い年代への浸透状況に変化が見える。



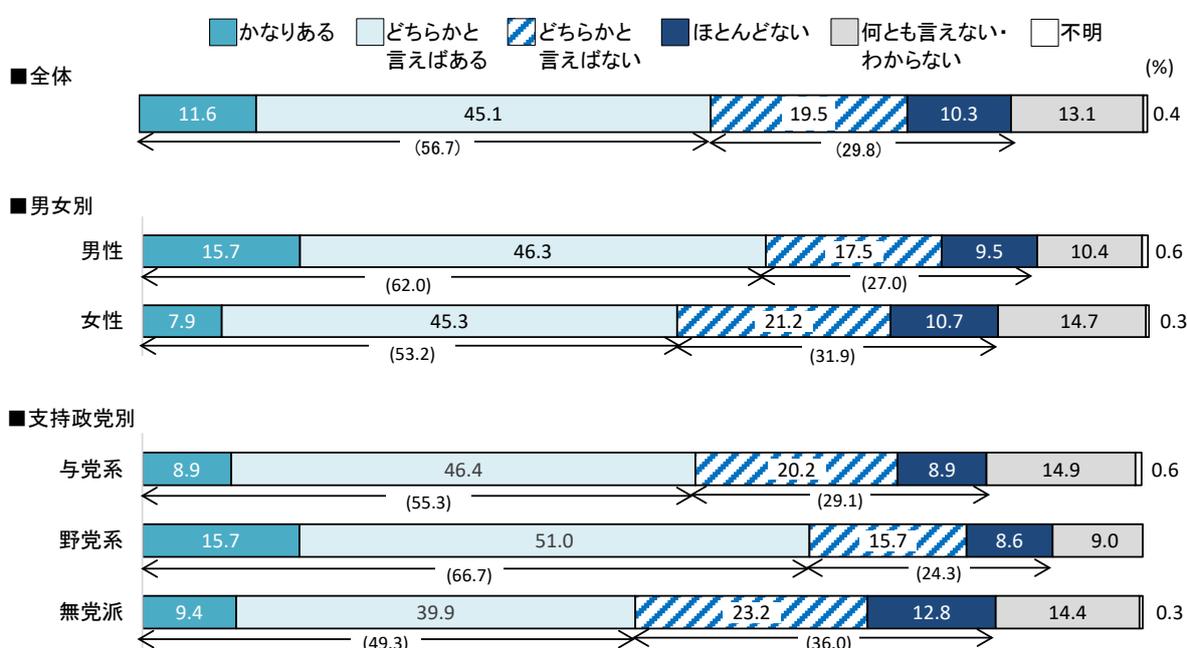
憲法への関心

問3 あなたは、憲法をめぐる動きや内容に関心がありますか。

集計表45ページ

◆「ある」57%

憲法をめぐる動きや内容に関心があるかと聞いたところ、「かなりある」が11.6%、「どちらかと言えばある」が45.1%で、2つを合わせた「関心がある」は全体の56.7%。「どちらかと言えばない」(19.5%)、「ほとんどない」(10.3%)の2つを合わせた「関心がない」は29.8%。男女別でみると、「関心がある」は男性が62.0%で、女性の53.2%より8.8ポイント高かった。支持政党別でみると、「関心がある」は野党系支持層が高く66.7%、与党系支持層55.3%、無党派層49.3%となった。



※ [与党系] 自民、公明 [野党系] 立民、維新、国民、れいわ、共産、参政、保守、社民 [無党派] 「支持する政党はない」

知識や情報を得る方法

問4 あなたは、これまで憲法に関する知識や情報を、主として何から得ましたか。あるいは得ていますか。次の中から、2つ以内に絞ってお答えください。

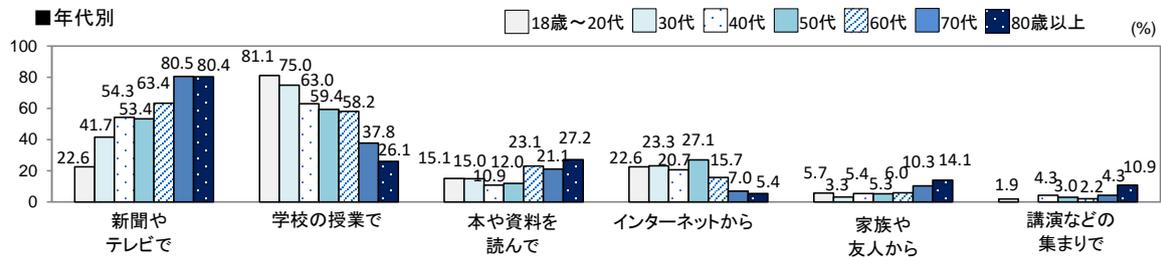
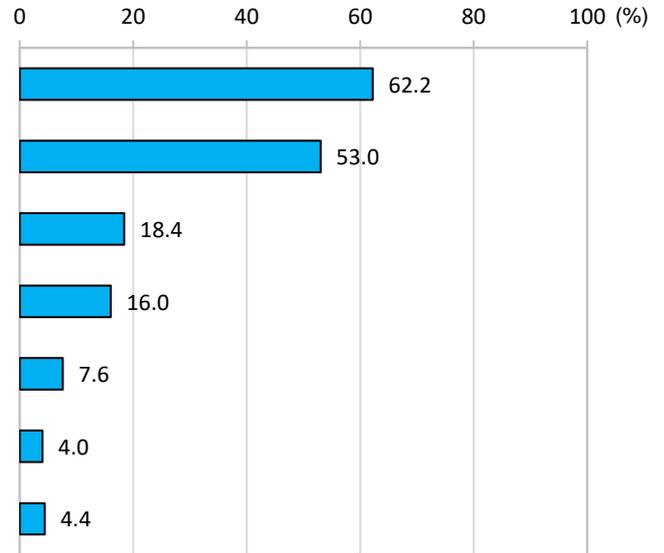
◆「新聞やテレビで」6割

集計表46ページ

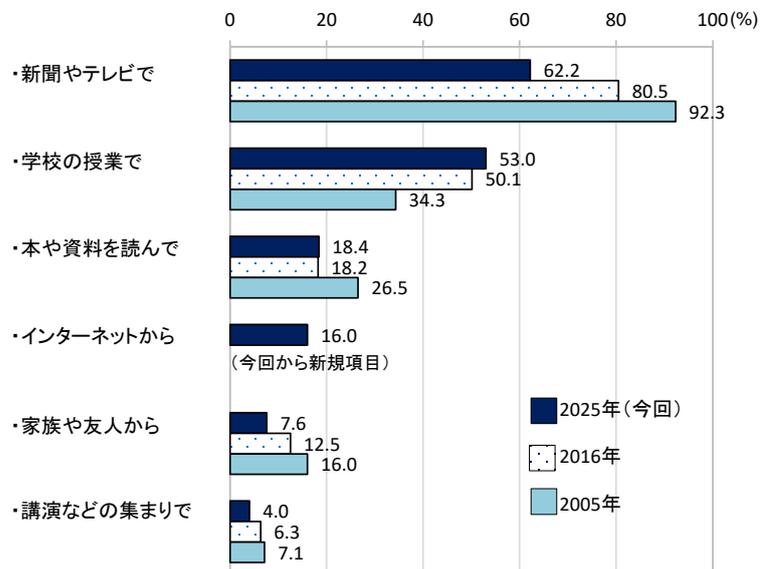
憲法に関する知識や情報を得た方法（2つ以内）を聞いたところ、「新聞やテレビで」が62.2%でトップ。続いて「学校の授業で」が53.0%で、この2項目が中心だ。それ以外は2割以下で、「本や資料を読んで」が18.4%、「インターネットから」が16.0%だった。

年代別にみると、「新聞やテレビで」は80歳以上

(80.4%)、70代(80.5%)、60代(63.4%)が高い。「学校の授業で」は18歳～20代(81.1%)、30代(75.0%)、40代(63.0%)、50代(59.4%)で高く、「新聞やテレビで」を上回る。



(注) 20年前の当協会調査「戦後60年と憲法」(2005年)では、同じ質問に対して「新聞やテレビで」が92.3%、9年前の当協会調査「憲法公布70年」(2016年)では80.5%で、今回調査(62.2%)にかけて下降している。



今の憲法はよいと思う？ 思わない？

問5 あなたは、今の憲法は全体として見ると、よい憲法だと思いますか、思いませんか。

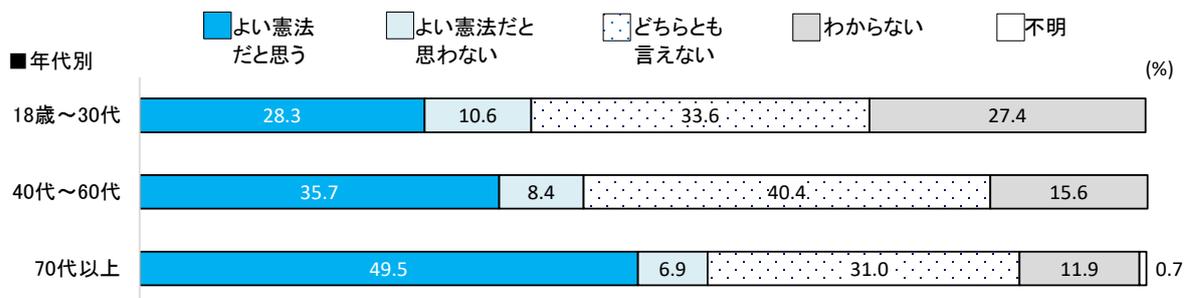
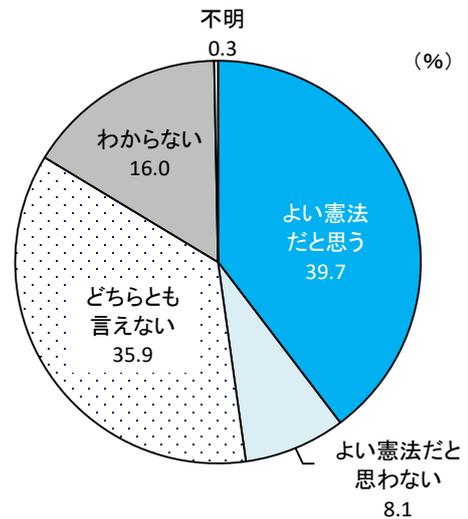
◆「よいと思う」40%、「よいと思わない」8%、留保52%

集計表47ページ

今の憲法を全体として見て、良いと思うか思わないかを聞いたところ、「よい憲法だと思う」は39.7%、「よい憲法だと思わない」は8.1%となった。このほか、「どちらとも言えない」が35.9%、「わからない」が16.0%で、2つを合わせた留保が51.9%を占めた。

「よい憲法だと思う」が最も割合が高いものの4割に達していない。「どちらとも言えない」「わからない」を合わせた留保が51.9%と半数を超えている。

年代別にみると、「よい憲法だと思う」は70代以上(49.5%)、40代～60代(35.7%)、18歳～30代(28.3%)と、若い年代ほど低くなっている。「どちらとも言えない」は18歳～30代(33.6%)、40代～60代(40.4%)で「よいと思う」を上回った。



憲法3原則は尊重されているか

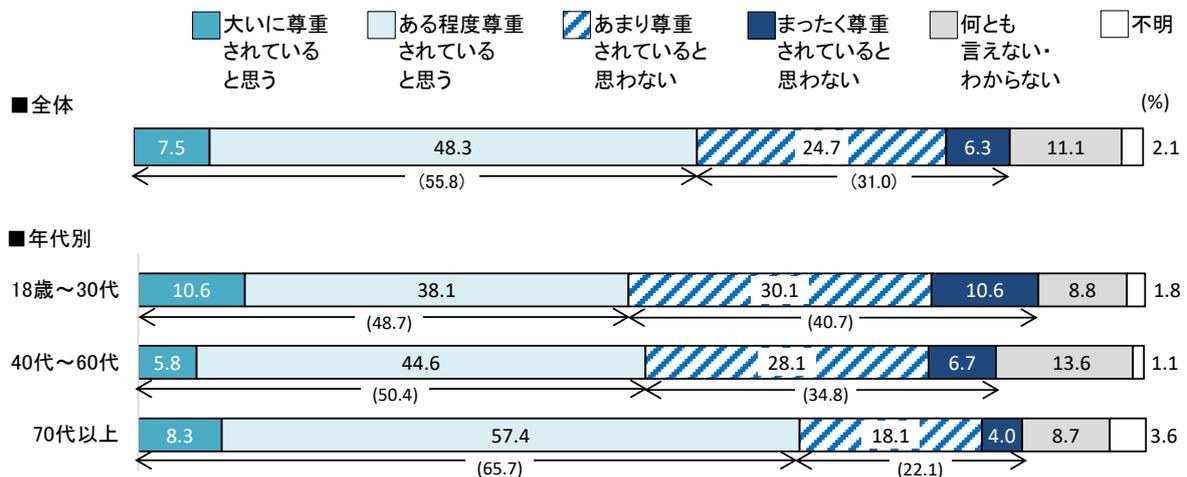
問6 憲法には、国民主権、平和主義、基本的人権の尊重の3原則があります。あなたは、今の日本では、この3原則が尊重されていると思いますか、思いませんか。

A 国民主権

◆「尊重されている」56%

集計表48ページ

憲法3原則のうち、国民主権が「大いに尊重されていると思う」は7.5%、「ある程度尊重されていると思う」が48.3%で、この2つを合わせた「尊重されている」は55.8%だった。「あまり尊重されていると思わない」(24.7%)、「まったく尊重されていると思わない」(6.3%)を合わせた「尊重されていない」は31.0%だった。年代別にみると、「尊重されている」は、70代以上(65.7%)、40代~60代(50.4%)、18歳~30代(48.7%)となっており、若い年代ほど割合が低くなっている。特に「尊重されていない」は18歳~30代で40.7%と4割を超えた。

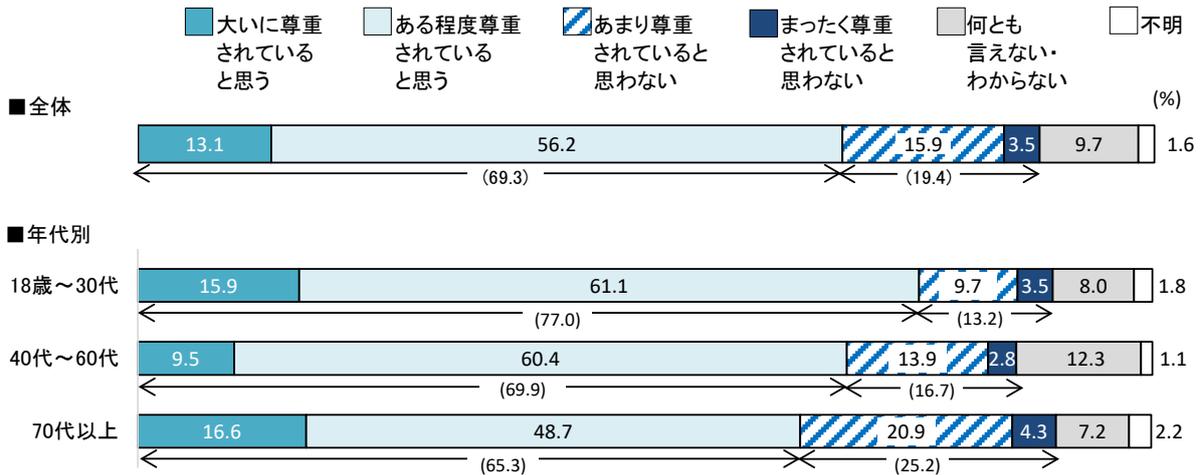


B 平和主義

◆「尊重されている」69%

集計表49ページ

憲法3原則のうち、平和主義が「大いに尊重されていると思う」は13.1%、「ある程度尊重されていると思う」が56.2%で、この2つを合わせた「尊重されている」は69.3%だった。「あまり尊重されていると思わない」(15.9%)、「まったく尊重されていると思わない」(3.5%)を合わせた「尊重されていない」は19.4%だった。年代別にみると、「尊重されている」は、18歳～30代が77.0%を占めるが、40代～60代は69.9%、70代以上は65.3%と、年代が高いほど割合が低い。

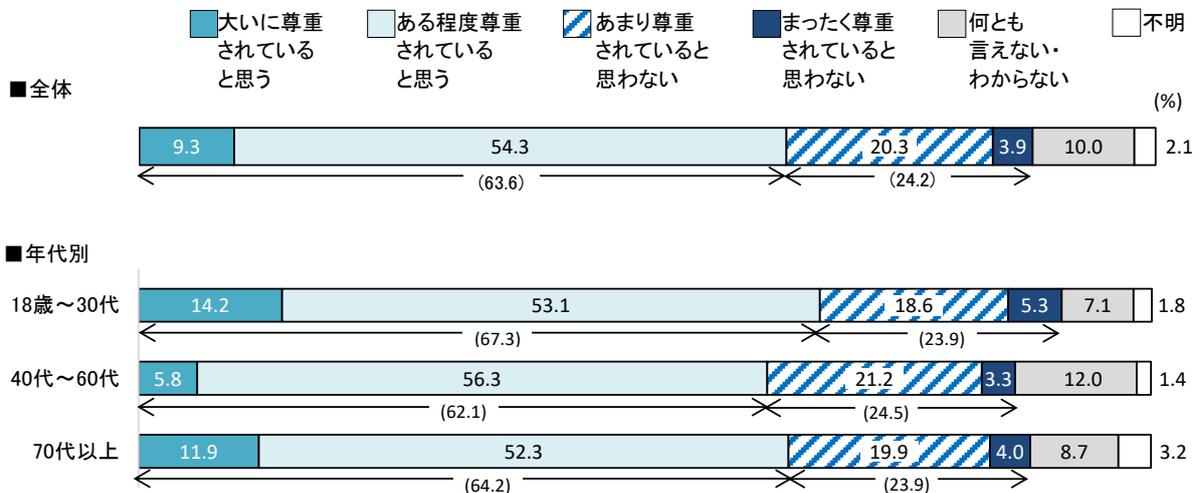


C 基本的人権

◆「尊重されている」64%

集計表50ページ

憲法3原則のうち、基本的人権が「大いに尊重されていると思う」は9.3%、「ある程度尊重されていると思う」が54.3%で、この2つを合わせた「尊重されている」は63.6%だった。「あまり尊重されていると思わない」(20.3%)、「まったく尊重されていると思わない」(3.9%)を合わせた「尊重されていない」は24.2%だった。年代別にみると、「尊重されている」は、70代以上(64.2%)、40代～60代(62.1%)、18歳～30代(67.3%)のいずれも6割を超えており、他の3原則の項目に比べると年代で大きな差はない。



言論や出版の自由はよく守られているか

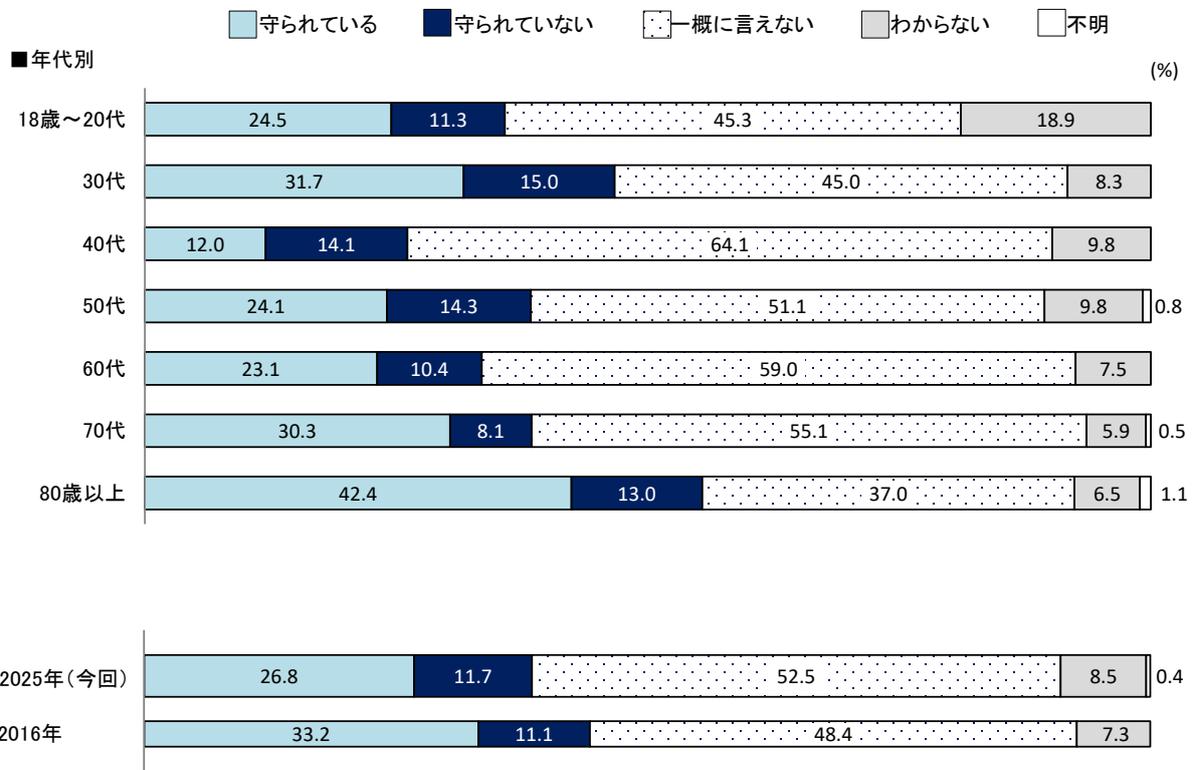
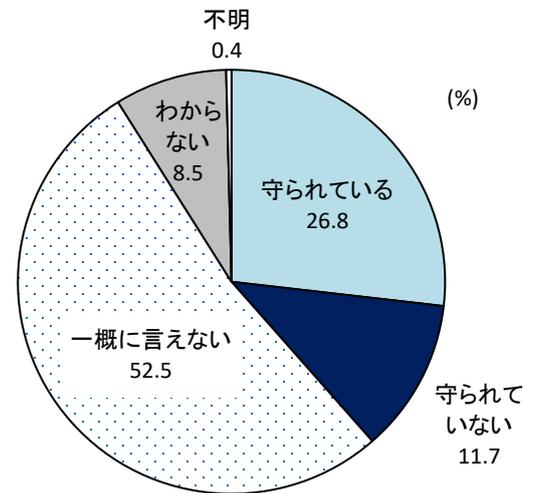
問7 今の日本では、言論や出版の自由はよく守られていると思いますか、守られていないと思いますか。

集計表51ページ

◆「一概に言えない」53%

今の日本で言論や出版の自由がよく「守られている」と思う人は26.8%、「守られていない」は11.7%で、「一概に言えない」が半数超の52.5%、「わからない」が8.5%だった。「守られている」が半数を超えた年代はなく、ほとんどの年代で「一概に言えない」が最も高かった。

(注) 当協会調査「憲法公布70年」(2016年)では、同じ質問に対して「守られている」(33.2%)が3割を超え、「一概に言えない」(48.4%)が5割を切っていた。今回の調査では、憲法21条で保障されている表現の自由への危惧がやや増した状況がうかがえる。



憲法改正の必要性

問8 あなたは、今の憲法を改正する必要があると思いますか。

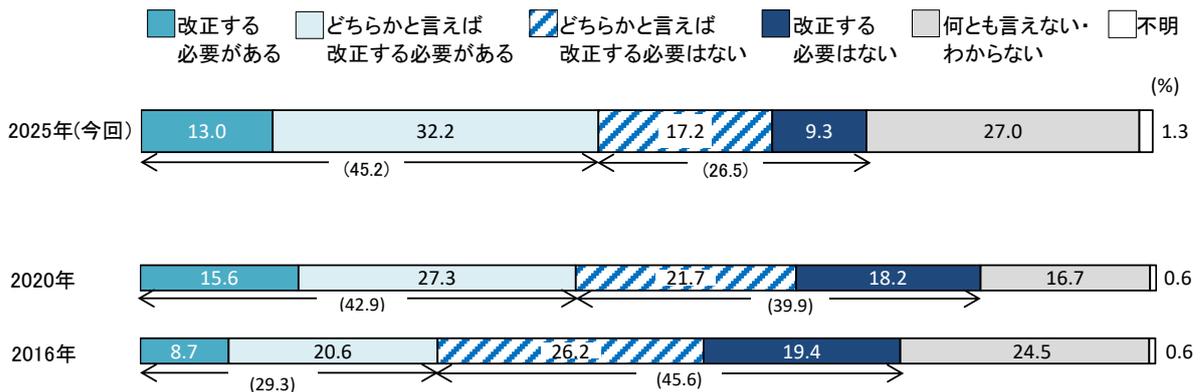
集計表52ページ

◆必要 45%、不要 27%

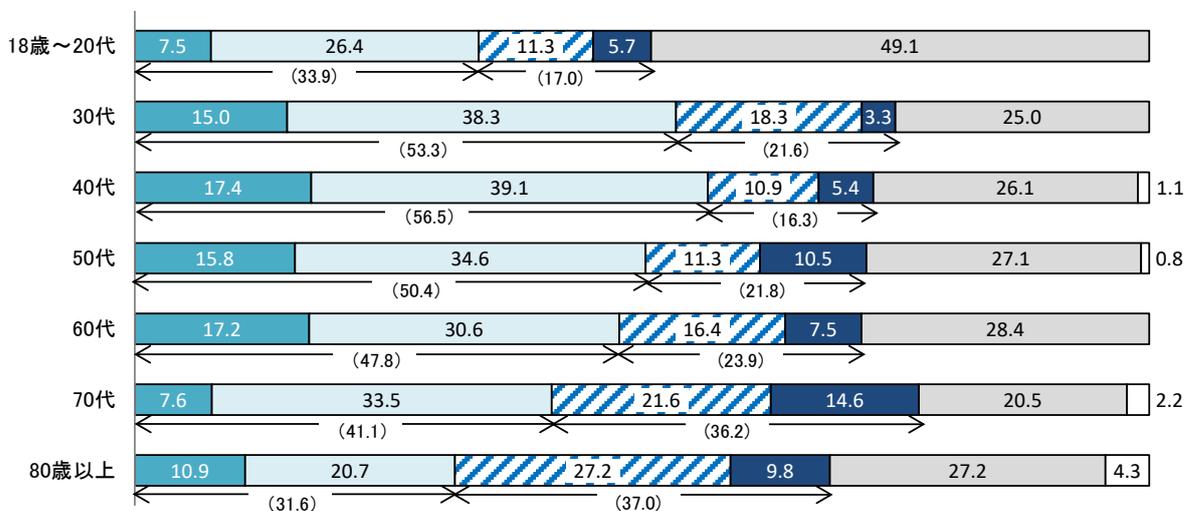
今の憲法を改正する必要性を5段階で聞いたところ、「改正する必要がある」13.0%、「どちらかと言えば改正する必要がある」32.2%を合わせ改正が「必要」と答えたのは45.2%だった。一方、「改正する必要はない」9.3%、「どちらかと言えば改正する必要はない」17.2%を合わせ改正が「不要」としたのは26.5%。「何とも言えない・わからない」は27.0%。

年代別にみると、「必要」は30代、40代、50代でいずれも5割を超え、それぞれ53.3%、56.5%、50.4%を占めた。「不要」は80歳以上が37.0%と唯一「必要」を上回った。18歳～20代の「何とも言えない・わからない」は49.1%に上った。

(注) 9年前の当協会調査「憲法公布70年」(2016年)では、同じ質問に対して改正が「必要」としたのは29.3%、「不要」が45.6%。5年前の当協会調査「憲法どう考える」(2020年)では、「必要」が42.9%、「不要」が39.9%だった。この9年間で憲法改正の必要性への考え方が大きく変化してきた状況がうかがえる。



■年代別



注目する項目

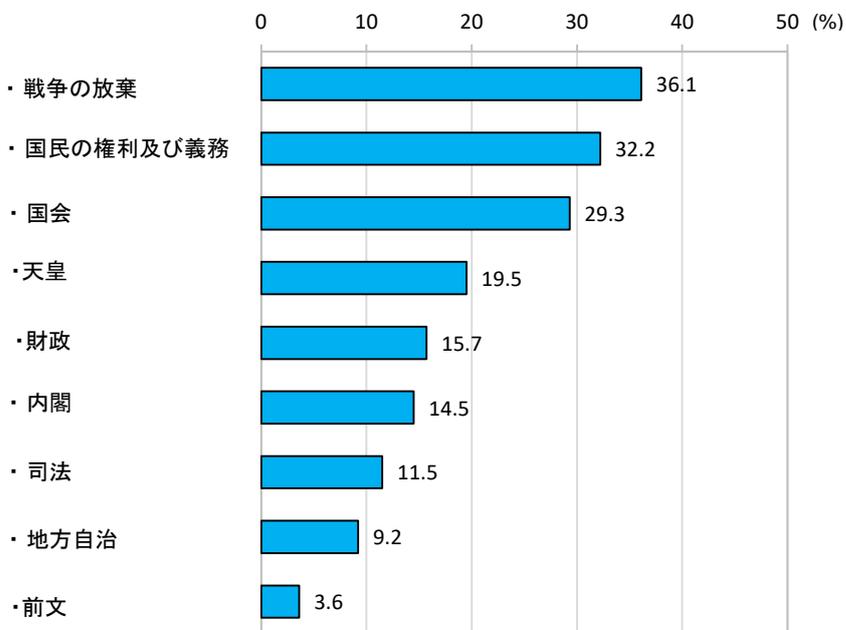
問9 (問8で「改正する必要がある」「どちらかと言えば改正する必要がある」とお答えの方にお尋ねします) 憲法を改正するとしたら、あなたは、どの項目に注目しますか。次の中から、2つ以内に絞ってお答えください。

◆改正するとしたら注目は「戦争の放棄」「国民の権利及び義務」「国会」

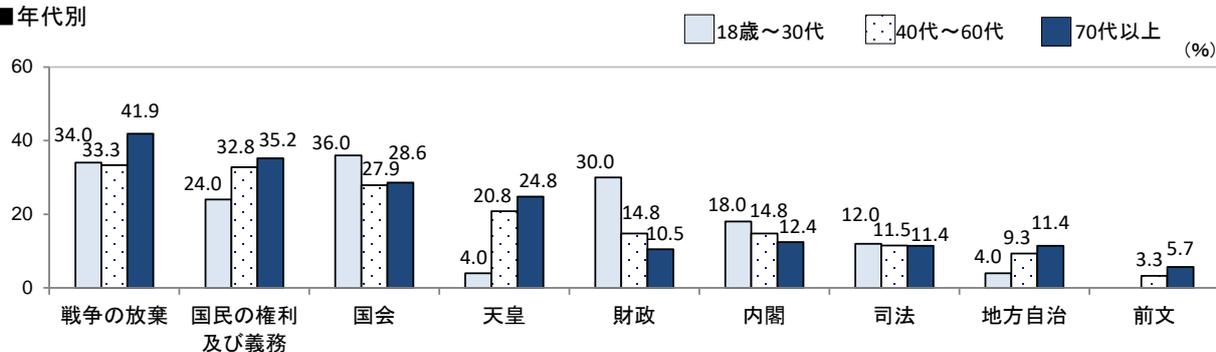
集計表53ページ

改正が「必要」と考える人に聞いた注目する項目（2つ以内）は、「戦争の放棄」36.1%、「国民の権利及び義務」32.2%、「国会」29.3%の順に高かった。それ以外は2割に満たなかった。

年代別にみると、70代以上と40～60代が「戦争の放棄」の割合が最も高く、それぞれ41.9%、33.3%だった。18歳～30代は「国会」が最も高く、36.0%だった。



■年代別



「改正する必要がある」の理由への是非

問10 「改正する必要がある」という理由として、次のA・Bのような考え方について、あなたは、どう思いますか。

A 憲法の規定が実態に合わなくなっているから

集計表54ページ

◆ 肯定 54%、否定 14%、留保 30%

「そう思う」が 53.7% で半数を超えた。「そうは思わない」は 13.8% と最も低く、「何とも言えない・わからない」が 30.4% となった。

(注) 当協会調査「憲法公布 70 年」(2016 年) では、同じ質問に対して「そう思う」44.2%、「そうは思わない」25.2%、「何とも言えない・わからない」28.4%。今回の調査は、9 年前調査から「そう思う」が 9.5 ポイント上昇した。「そうは思わない」は、11.4 ポイント下降し、割合がほぼ半減する結果となった。



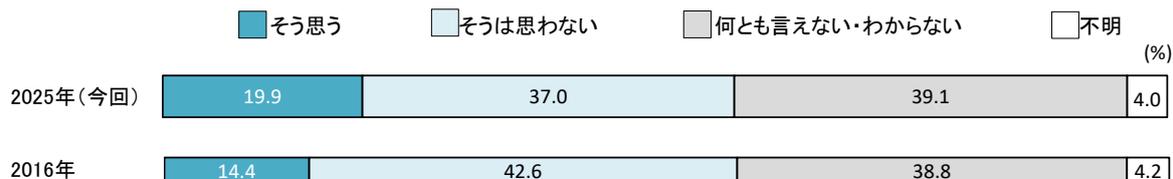
B 米国に押し付けられた憲法だから

集計表55ページ

◆ 肯定 20%、否定 37%、留保 39%

「そう思う」は最も低く 19.9%、「そうは思わない」が 37.0% となった。「何とも言えない・わからない」が最も高く 39.1% を占めた。

(注) 当協会調査「憲法公布 70 年」(2016 年) では、同じ質問に対して「そう思う」14.4%、「そうは思わない」42.6%、「何とも言えない・わからない」38.8%。今回の調査では「そうは思わない」が 5.6 ポイント下降、「そう思う」が 5.5 ポイント上昇した。



「改正する必要はない」の理由への是非

問 11 「改正する必要はない」という理由として、次のA・Bのような考え方について、あなたは、どう思いますか。

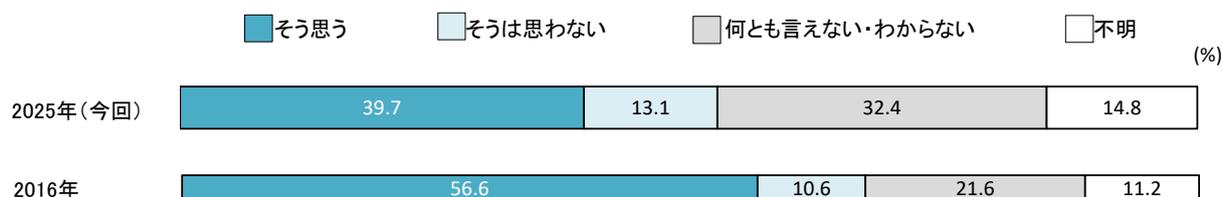
A 平和主義を掲げているから

集計表56ページ

◆ 肯定 40%、否定 13%、留保 32%

「そう思う」39.7%、「そうは思わない」13.1%、「何とも言えない・わからない」32.4%となった。年代別にみると、「そう思う」は70代以上で最も高く46.2%。40代～60代(35.7%)と18歳～30代(36.3%)は4割を切った。「何とも言えない・わからない」は、40代～60代と18歳～20代でそれぞれ38.4%、37.2%と最も高い割合となった。

(注) 当協会調査「憲法公布70年」(2016年)では、同じ質問に対して「そう思う」56.6%、「そうは思わない」10.6%、「何とも言えない・わからない」21.6%。今回調査では「そう思う」が16.9ポイントと大きく下降し、「そうは思わない」が2.5ポイント上昇となった。



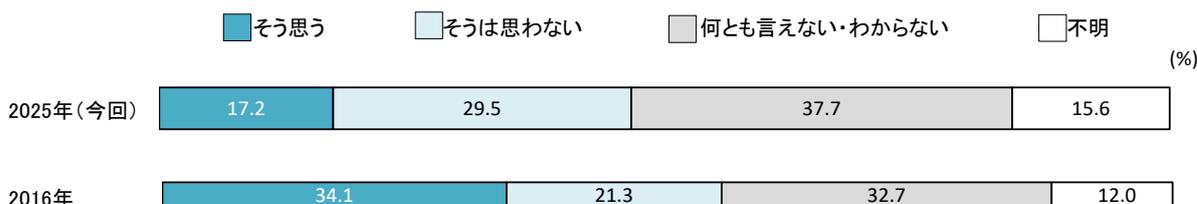
B 現憲法で不都合なことはないから

集計表57ページ

◆ 肯定 17%、否定 30%、留保 38%

「そう思う」17.2%、「そうは思わない」29.5%、「何とも言えない・わからない」37.7%。「そうは思わない」が「そう思う」を12.3ポイントも上回る結果となった。「何とも言えない・わからない」がほぼ全年代で最も高い割合を占めた。

(注) 当協会調査「憲法公布70年」(2016年)では、同じ質問に対して「そう思う」の34.1%が最も高く、続いて「何とも言えない・わからない」32.7%、「そうは思わない」21.3%だった。今回の調査では「そう思う」が16.9ポイントも下降し、半減となった。



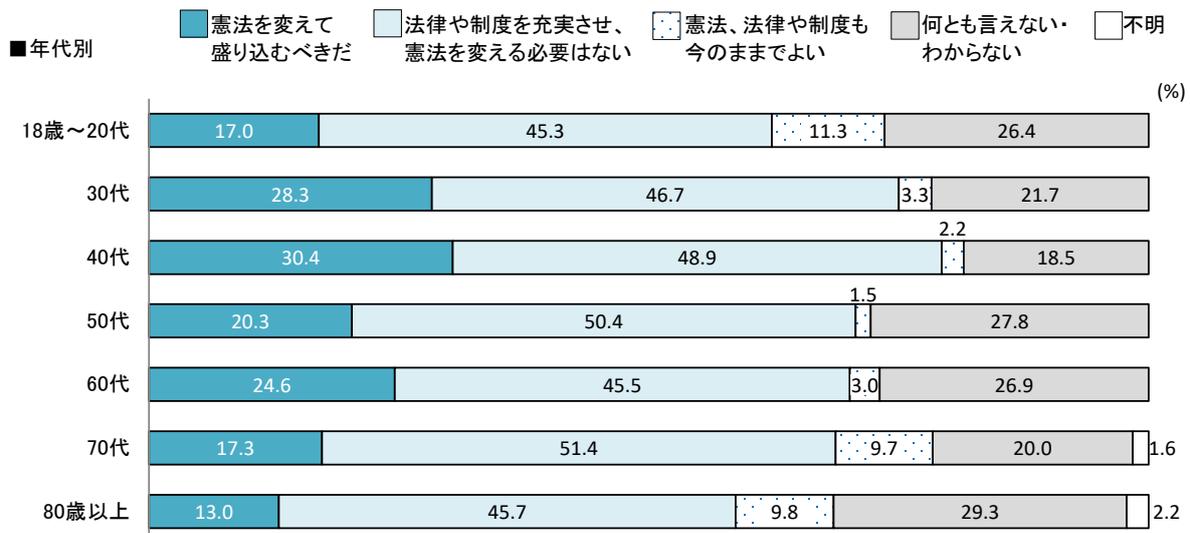
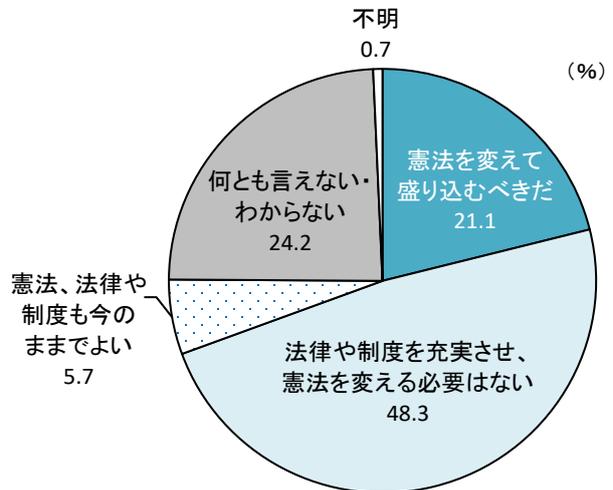
新しい権利を憲法に加えることについて

問 12 「知る権利」「プライバシー権」「環境権」などの、新しい権利を憲法に加えるべきだ
という意見があります。あなたは、どう思いますか。

集計表58ページ

◆「憲法を変えずに法律や制度充実」が48%

「知る権利」「プライバシー権」「環境権」などの新しい権利を憲法に加えるべきだという意見について聞いたところ、「法律や制度を充実させ、憲法を変える必要はない」が48.3%でトップ。続いて「憲法を変えて盛り込むべきだ」が21.1%、「憲法、法律や制度も今のままでよい」が5.7%となった。年代別にみても、いずれの年代も「法律や制度を充実させ、憲法を変える必要はない」が最も高い結果となった。



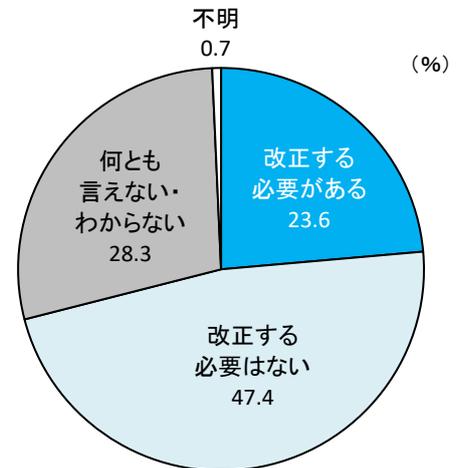
憲法第9条改正の必要性

問13 あなたは、憲法第9条（戦争の放棄）を改正する必要について、どう思いますか。

◆「改正する必要はない」47%

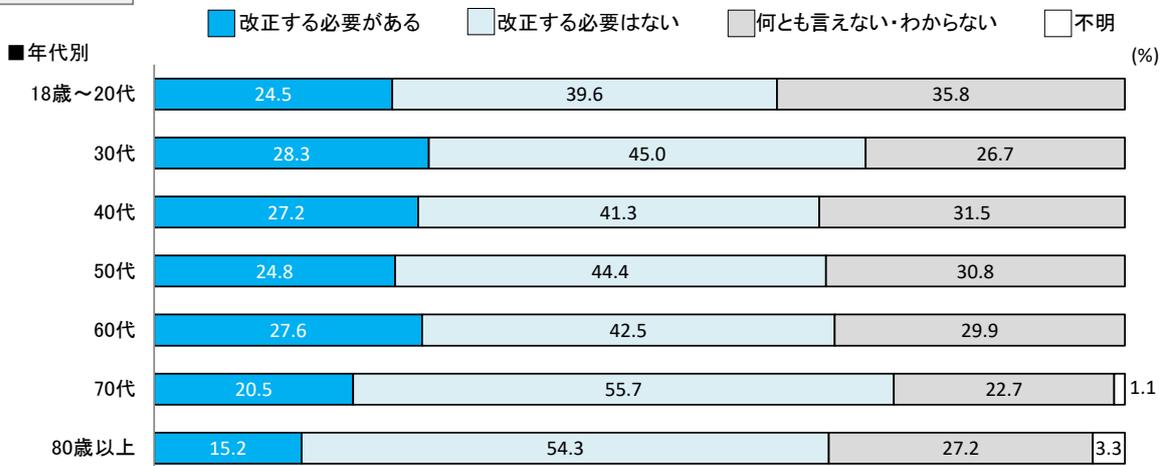
集計表59ページ

憲法第9条（戦争の放棄）について聞いたところ、「改正する必要はない」が47.4%と最も割合が高かった。「改正する必要がある」は23.6%、「何とも言えない・わからない」が28.3%だった。年代別にみると、「改正する必要はない」がすべての年代で最も高く、70代（55.7%）、80歳以上（54.3%）では5割を超えた。一方、「改正する必要がある」を男女別にみると、男性が32.3%で、女性（16.5%）のほぼ倍だった。

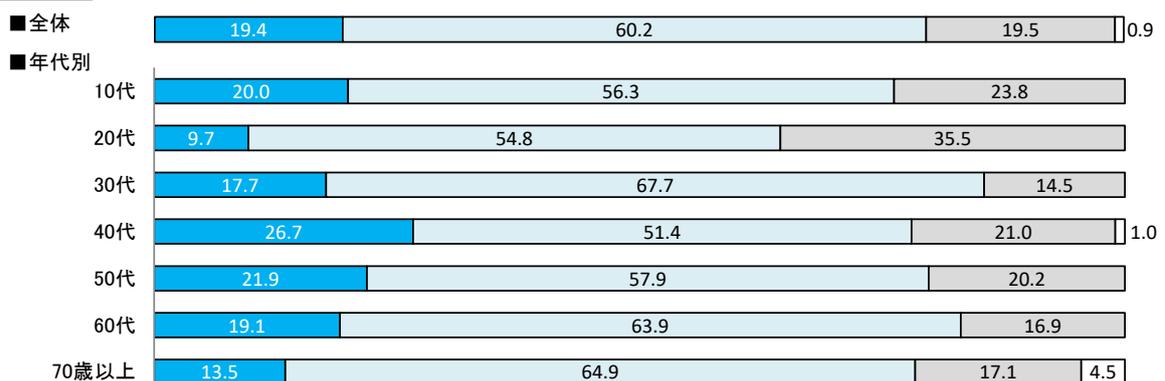


（注）当協会調査「憲法公布70年」（2016年）では、同じ質問に対して「改正する必要がある」19.4%、「改正する必要はない」60.2%、「何とも言えない・わからない」19.5%。「改正する必要はない」は全年代で半数を超えていたが、今回の調査では60代以下はいずれも5割に達しておらず、18歳～20代は4割に満たなかった。

2025年（今回）



2016年



憲法第9条を改正する必要がある理由

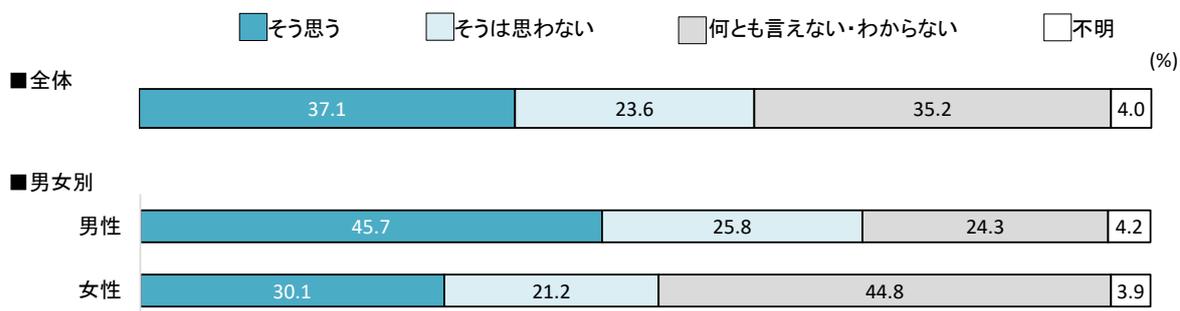
問 14 憲法第9条を「改正する必要がある」という理由として、次のA～Dのような考え方について、あなたは、どう思いますか。

A 「自衛権と戦力の保持」を明記するべきだから

集計表60ページ

◆肯定 37%、否定 24%、留保 35%

「そう思う」37.1%、「そうは思わない」23.6%、「何とも言えない・わからない」35.2%となった。男女別にみると、「そう思う」は男性が45.7%で、女性の30.1%を15.6ポイント上回った。

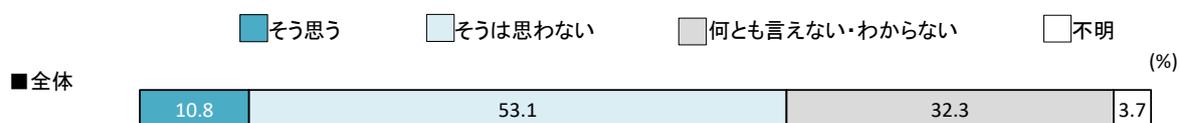


B 国際的役割として、海外での武力行使をできるようにするべきだから

集計表61ページ

◆肯定 11%、否定 53%、留保 32%

「そう思う」が10.8%、「そうは思わない」53.1%、「何とも言えない・わからない」32.3%となり、「そうは思わない」が半数を超えた。

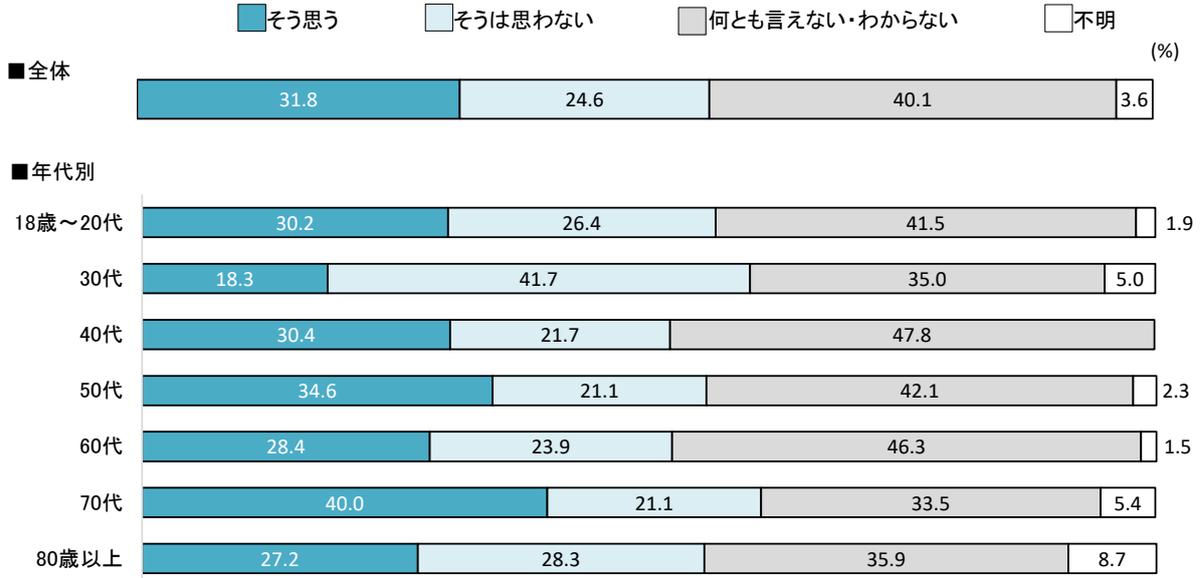


C 自衛隊の役割や増強に、歯止めとなる規定を設けるべきだから

集計表62ページ

◆肯定 32%、否定 25%、留保 40%

「そう思う」31.8%、「そうは思わない」24.6%、「何とも言えない・わからない」40.1%と考えが大きく割れた。多くの年代が「何とも言えない・わからない」が最も高かったが、30代は「そうは思わない」、70代は「そう思う」が最も高い割合となった。

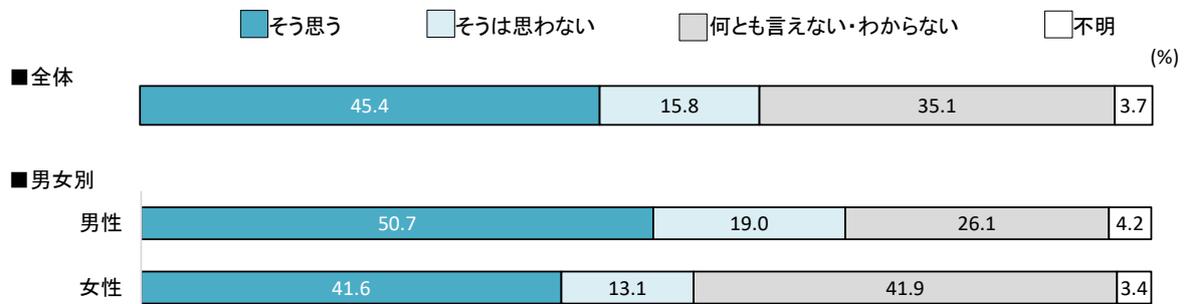


D 自衛隊の位置づけを明記すべきだから

集計表63ページ

◆肯定 45%、否定 16%、留保 35%

「そう思う」が45.4%で最も多く、「そうは思わない」は15.8%、「何とも言えない・わからない」は35.1%となった。男女別にみると、「そう思う」は男性が50.7%で、女性の41.6%を9.1ポイント上回った。



憲法第9条改正が不要という理由への是非

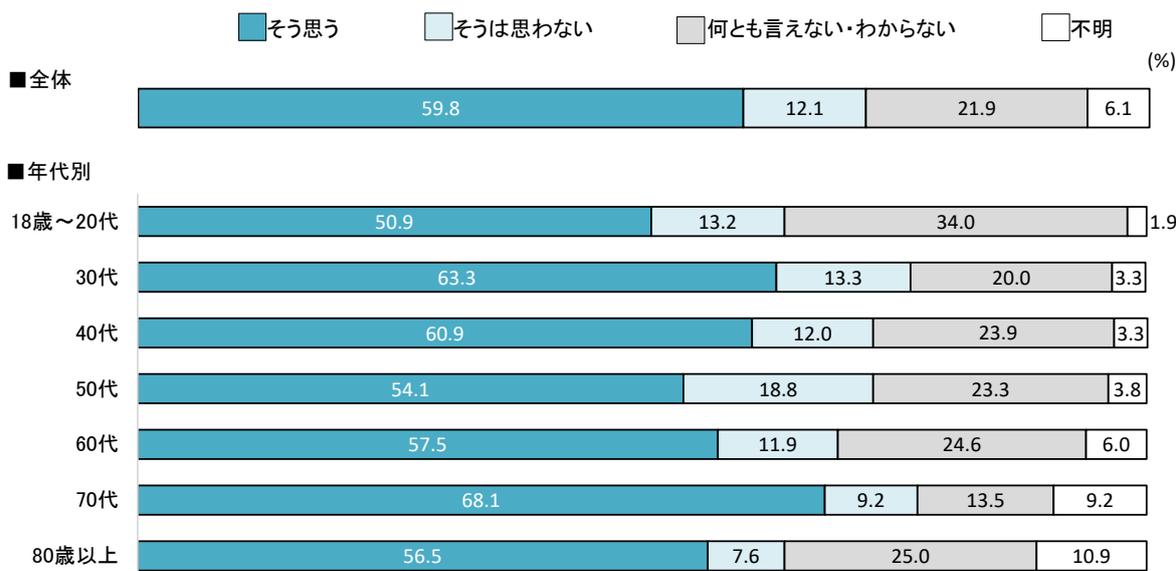
問 15 憲法第9条を「改正する必要はない」という理由として、次のA～Dのような考え
方について、あなたは、どう思いますか。

A 戦争放棄を掲げているから

集計表64ページ

◆肯定 60%、否定 12%、留保 22%

「そう思う」が圧倒的に多い 59.8%で、「そうは思わない」12.1%、「何とも言えない・わからない」21.9%。「そう思う」は全年代でトップとなり、とりわけ 30 代、40 代、70 代で 6 割を超えた。

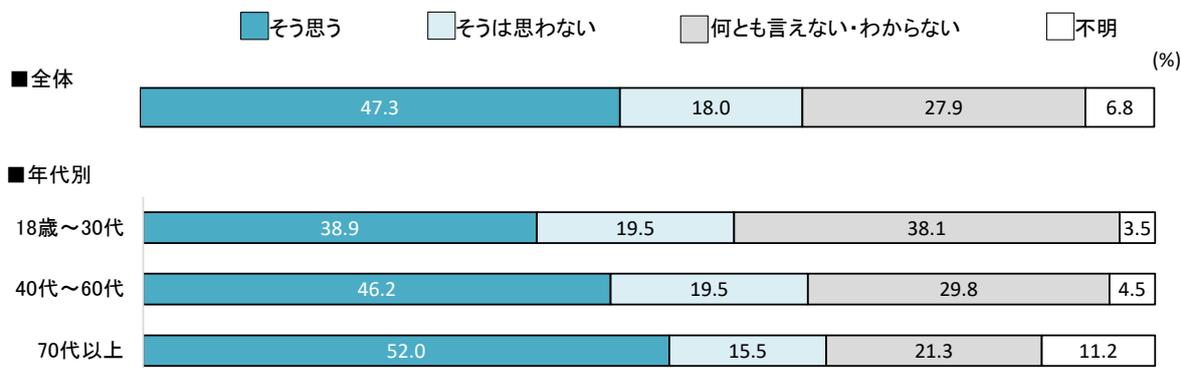


B 改正すれば、海外での武力行使の歯止めがなくなるから

集計表65ページ

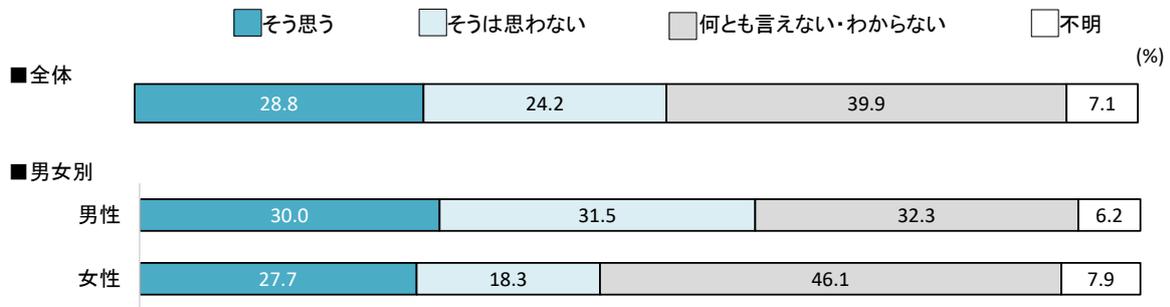
◆肯定 47%、否定 18%、留保 28%

「そう思う」47.3%、「そうは思わない」18.0%、「何とも言えない・わからない」27.9%となった。年代別にみると、「そう思う」は 70 代以上 (52.0%)、40 代～60 代 (46.2%)、18 歳～30 代 (38.9%) と年代が若いほど低くなる傾向となった。



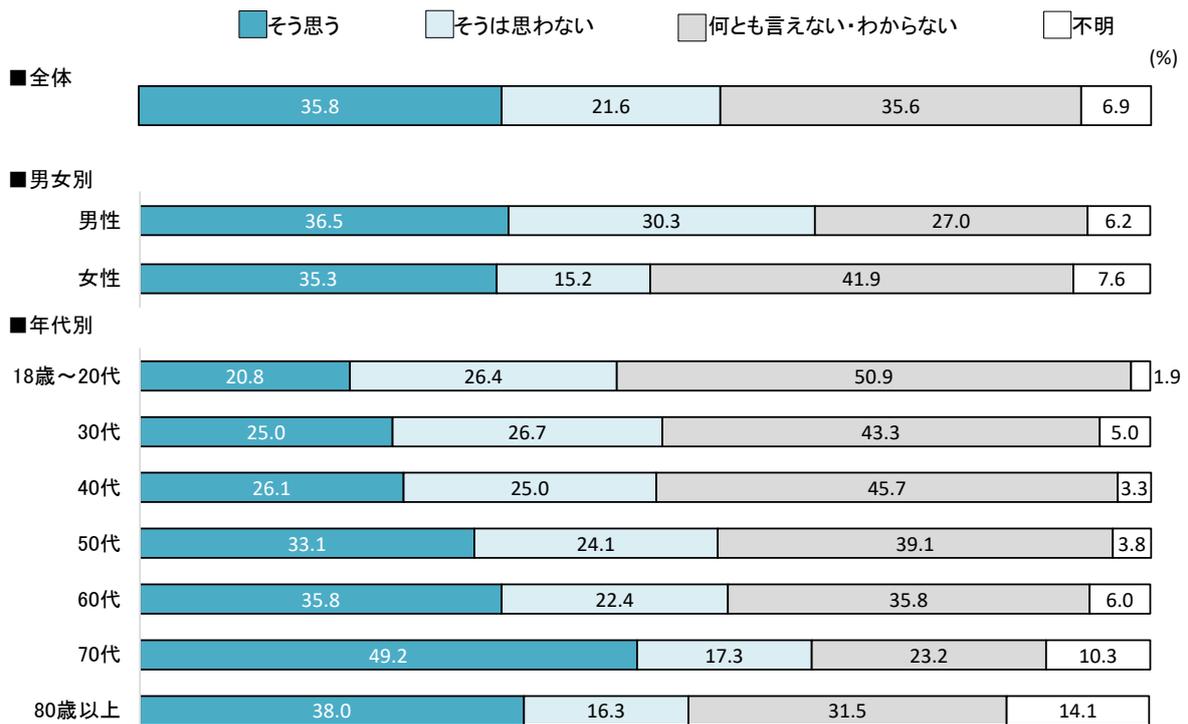
◆肯定 29%、否定 24%、留保 40%

「そう思う」が 28.8%、「そうは思わない」が 24.2%、「何とも言えない・わからない」が 39.9%となり、回答留保が4割を占めた。男女別にみると、「そうは思わない」は女性が 18.3%で、男性の 31.5%を 13.2 ポイント下回った。



◆肯定 36%、否定 22%、留保 36%

「そう思う」35.8%、「そうは思わない」21.6%、「何とも言えない・わからない」35.6%となった。男女別にみると、男性は「そう思う」(36.5%)が最多で、女性は「何とも言えない・わからない」(41.9%)が最多だった。年代別にみると、50代以下はいずれも「何とも言えない・わからない」が最多で、60代は「そう思う」と「何とも言えない・わからない」が同率(35.8%)、70代以上は「そう思う」が最も高かった。



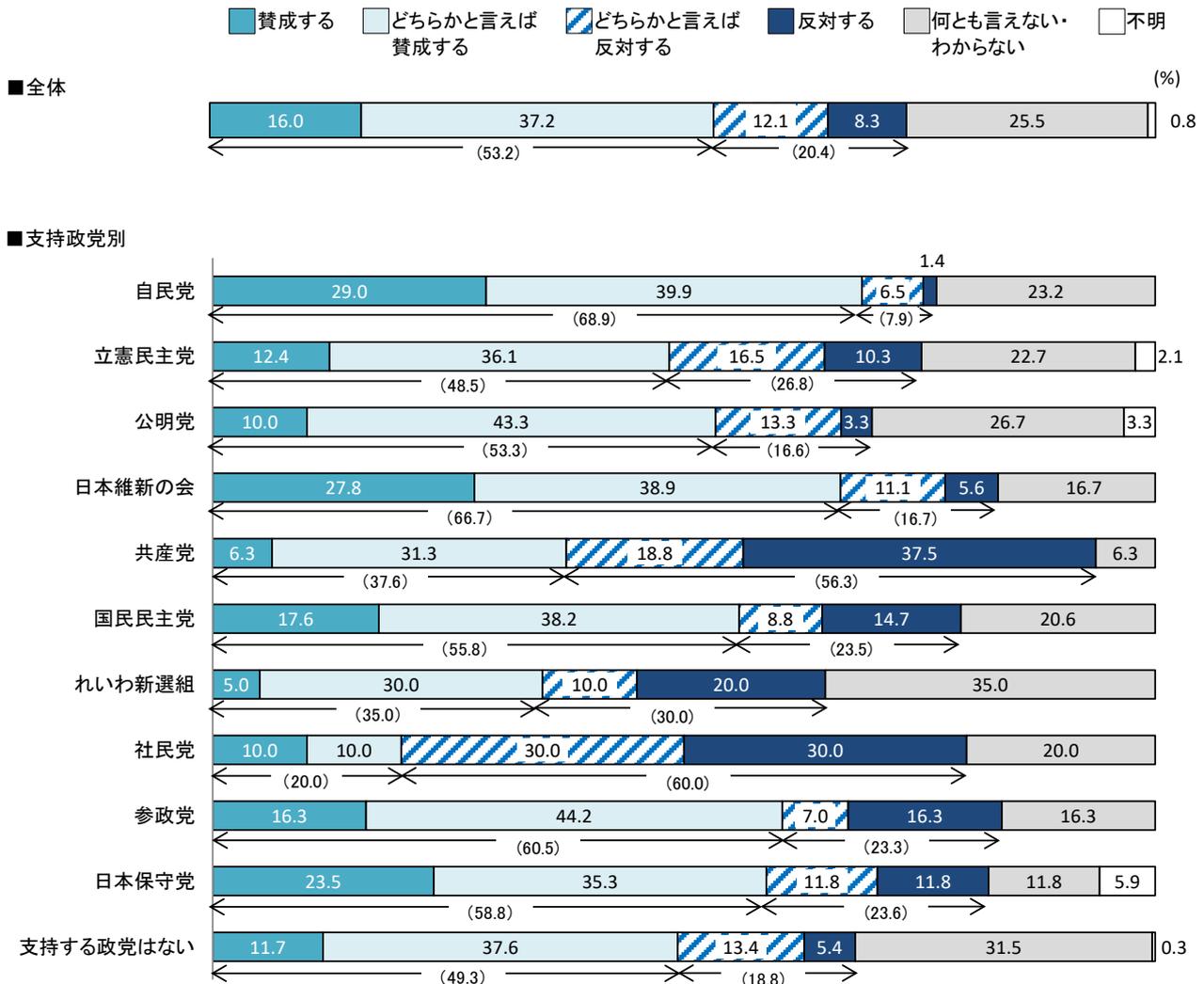
緊急事態条項の創設についての賛否

問 16 憲法改正については、大規模災害や武力攻撃を受けた際などに政府の権限を一時的に強化し、国会議員の任期延長など特別な措置を講じる規定「緊急事態条項」の創設が議論されています。あなたは緊急事態条項の創設についてどう考えますか。

◆「賛成」53%、「反対」20%、留保26%

集計表68ページ

国会で議論されている緊急事態条項の創設について賛否を聞いたところ、「賛成する」(16.0%)と「どちらかと言えば賛成する」(37.2%)を合わせた「賛成」は53.2%と半数を超えた。「どちらかと言えば反対する」(12.1%)と「反対する」(8.3%)を合わせた「反対」は20.4%、「何とも言えない・わからない」が25.5%を占めた。支持政党別では、自民党、日本維新の会、参政党の支持層で「賛成」が6割を超えた。社民党、共産党の支持層はサンプル数が少ないので参考値ではあるが、ともに「反対」が半数を超えた。無党派層は「賛成」が49.3%、「反対」が18.8%だった。



安保関連3文書の策定についての賛否

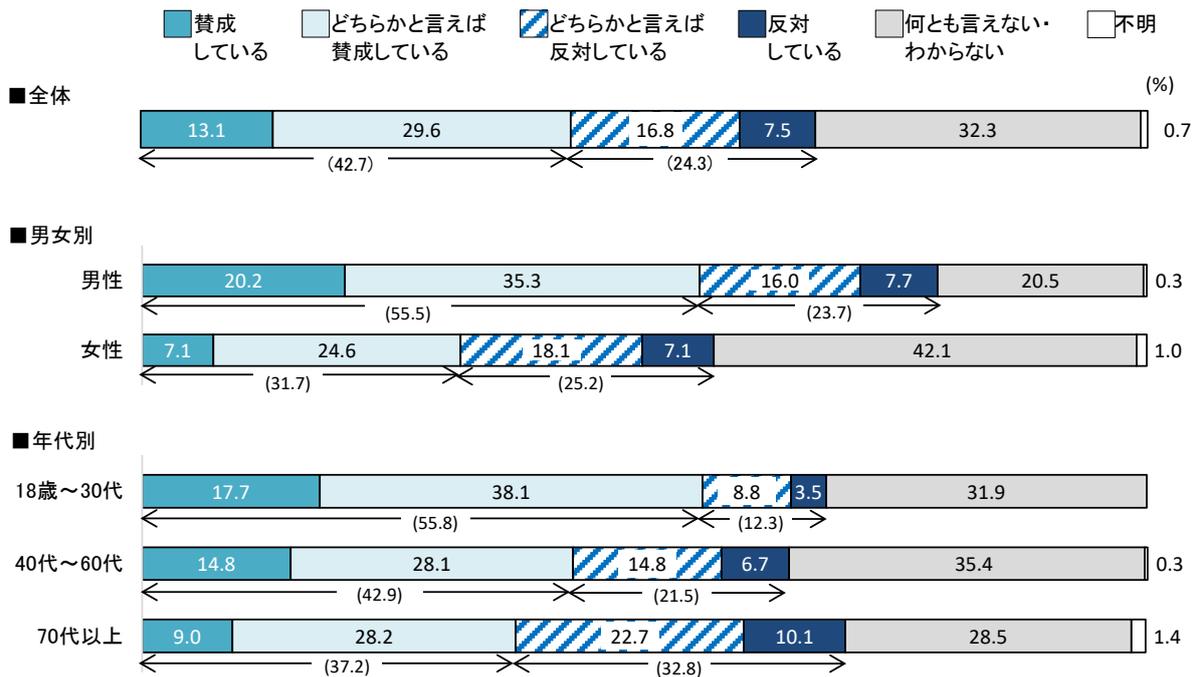
問17 政府は2022年に国家安全保障戦略など安保関連3文書を策定し、他国領域のミサイル基地などを破壊する反撃能力（敵基地攻撃能力）保有を決定しました。これは集団的自衛権の行使を可能にした2015年成立の安全保障関連法に続く政策の大転換となりました。あなたはこの政策をどう受け止めていますか。

◆「賛成」43%、「反対」24%、留保32%

集計表69ページ

敵基地攻撃能力の保有などを決めた安保関連3文書の策定について賛否を聞いたところ、「賛成している」（13.1%）と「どちらかと言えば賛成している」（29.6%）を合わせた「賛成」は42.7%と4割を超えた。「どちらかと言えば反対している」（16.8%）と「反対している」（7.5%）を合わせた「反対」は24.3%だった。「何とも言えない・わからない」は32.3%だった。

男女別では、「賛成」は男性が55.5%で、女性（31.7%）を23.8ポイントも上回った。年代別でみると、「賛成」は全年代で「反対」を上回り、18歳～30代が55.8%、40代～60代が42.9%、70代以上が37.2%と、若い年代ほど賛成の割合が高かった。



自衛隊は合憲か違憲か

問 18 自衛隊の存在には合憲、違憲の両論がありますが、あなたは、どう思いますか。

◆合憲 58%、違憲 7%、留保 35%

集計表70ページ

自衛隊の存在について聞いたところ、「合憲だと思う」57.5%、「違憲だと思う」6.9%、「何とも言えない・わからない」35.1%となった。合憲が違憲を50.6ポイントも上回った。年代別でみると、全年代で「合憲だと思う」が最も多く、30代(61.7%)、40代(65.2%)、60代(60.4%)で6割に達し、それ以外の年代も半数を超えた。

(注) 当協会調査「憲法公布70年」(2016年)では、同じ質問に対し「合憲だと思う」57.6%、「違憲だと思う」11.2%、「何とも言えない・わからない」29.7%。今回の調査では「違憲だと思う」が4.3ポイント下降しているものの、大きな変化は見られなかった。



■年代別



憲法改正の手続きを知っているか

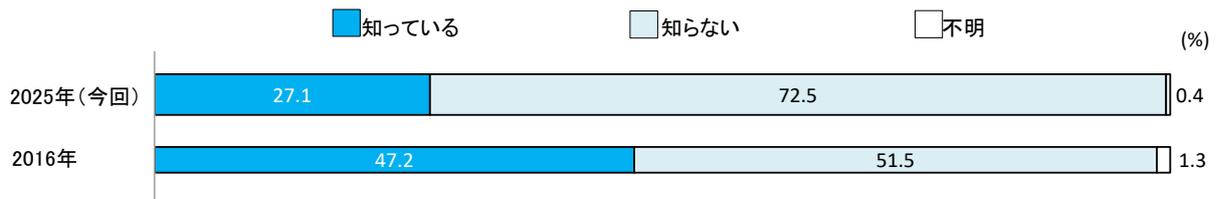
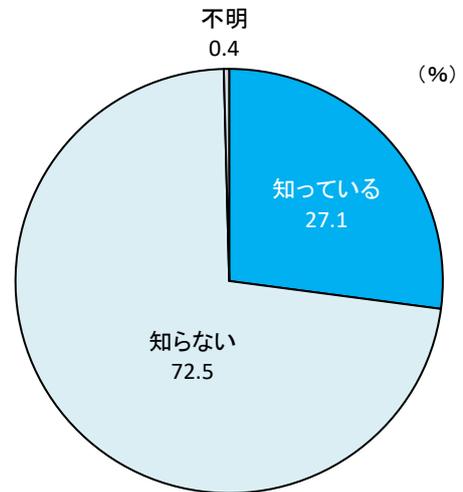
問 19 あなたは、憲法改正に必要な手続きを知っていますか。

◆ 「知っている」27%、「知らない」73%

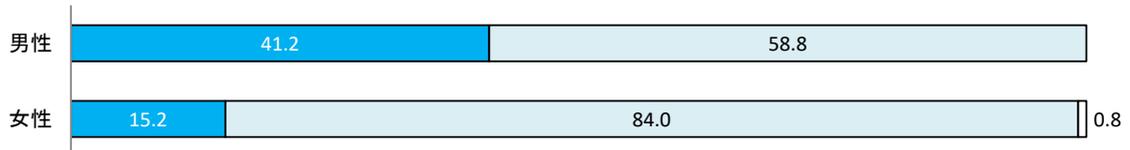
集計表71ページ

憲法改正に必要な手続きについて「知っている」27.1%、「知らない」72.5%で、手続きが県民に浸透しているとは言えない状況がうかがえる。男女別にみると、「知らない」は女性が84.0%で、男性の58.8%を25.2ポイント上回った。

(注) 当協会調査「憲法公布70年」(2016年)では、同じ質問に対して「知っている」が47.2%、「知らない」が51.5%。今回の調査では「知らない」が21.0ポイント上昇した。



■男女別



憲法改正をどう思うか

問 20 では、憲法改正について、どう思いますか。

◆ 「時間をかけて議論すべきだ」52%

集計表72ページ

憲法改正についてどう思うかと聞いたところ、「時間をかけて議論すべきだ」が51.7%で半数を超えた。「できるだけ早く改正すべきだ」は15.5%、「改正の必要はない」が11.6%だった。「何とも言えない・わからない」は20.8%だった。



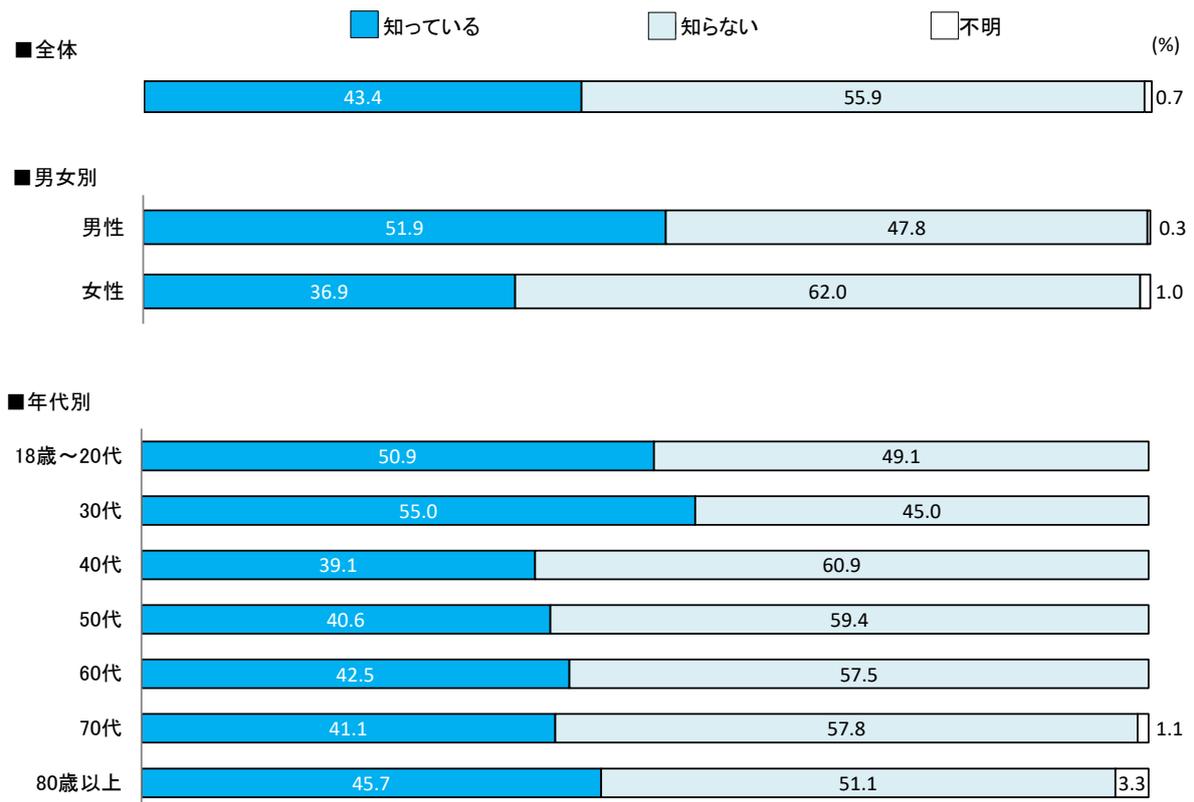
立憲主義を知っていますか

問 21 「最高法規として国家権力を制限し、国民の権利を保障する」という今の憲法の基本的な考え方を「立憲主義」といいます。あなたは、この立憲主義を知っていますか。

集計表73ページ

◆ 「知っている」43%

立憲主義について聞いたところ、「知っている」は43.4%で、「知らない」の55.9%を12.5ポイント下回った。「知っている」が5割を超えたのは、男女別での男性（51.9%）、年代別では18歳～20代（50.9%）、30代（55.0%）だった。



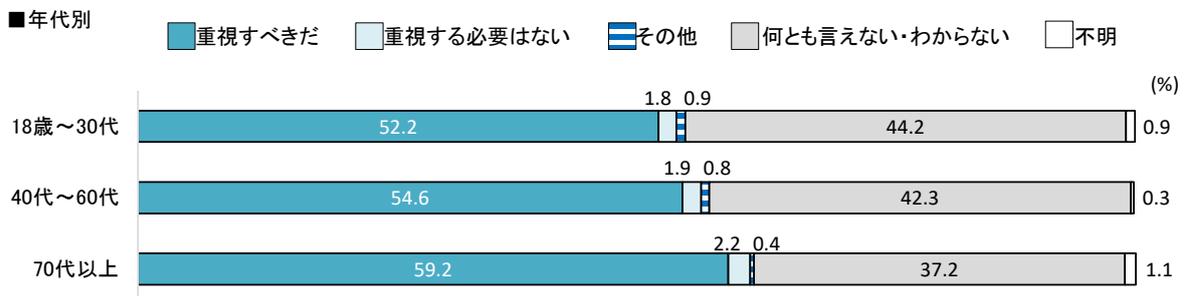
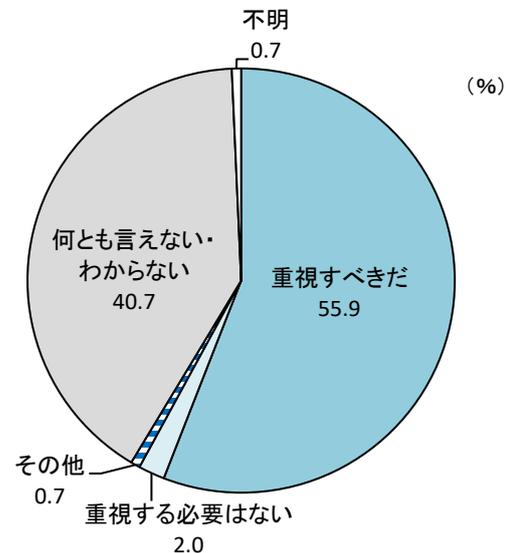
憲法改正論議で立憲主義をどう思うか

問 22 では、憲法解釈や憲法改正を議論するにあたり、あなたは、この「立憲主義」について、どう思いますか。

◆ 憲法改正論議に立憲主義を「重視すべきだ」56%

集計表74ページ

憲法解釈や憲法改正の論議に立憲主義を「重視すべきだ」と回答したのは55.9%。「重視する必要はない」は2.0%だった。「何とも言えない・わからない」は40.7%。年代別にみると、「重視すべきだ」は70代以上が59.2%と高く、40代～60代（54.6%）、18歳～30代（52.2%）と若い年代になるほど低くなる傾向だった。



憲法は平和と繁栄にどの程度役立ってきたか

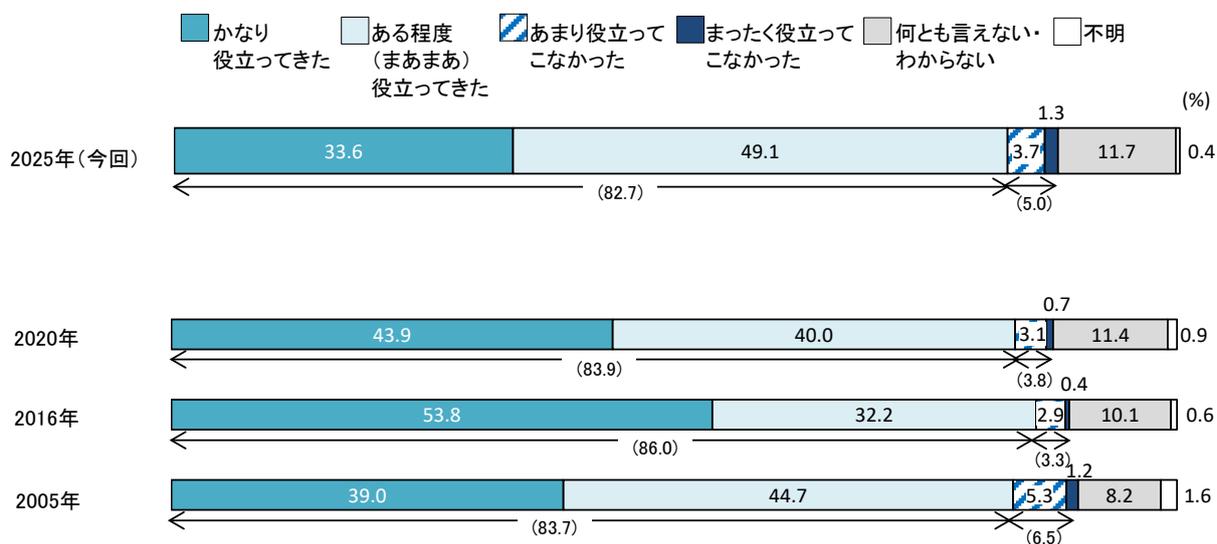
問 23 あなたは、今の憲法が戦後の日本の平和と繁栄に、どの程度役立ってきたと思いますか。

◆ 「役立ってきた」83%

集計表75ページ

「かなり役立ってきた」33.6%、「ある程度役立ってきた」49.1%を合わせた「役立ってきた」は82.7%に上った。「あまり役立ってこなかった」(3.7%)と「まったく役立ってこなかった」(1.3%)を合わせた「役立ってこなかった」は5.0%だった。

(注) 当協会調査の「戦後60年と憲法」(2005年)と「憲法公布70年」(2016年)、「憲法どう考える」(2020年)では、同じ質問に対して「かなり役立ってきた」と「まあまあ役立ってきた」を合わせた「役立ってきた」がそれぞれ83.7%、86.0%、83.9%。20年前、9年前、5年前と今回の調査のいずれも「役立ってきた」が8割を超える結果となった。



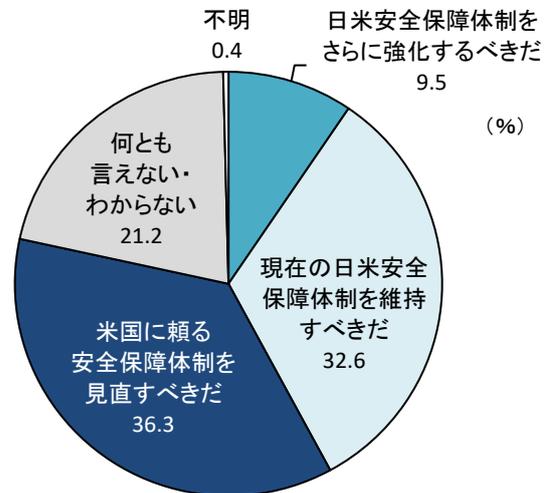
今後の日米安全保障体制はどうあるべきか

問 24 あなたは、これまで続いてきた日米安全保障体制について、今後どうあるべきだと考えますか。

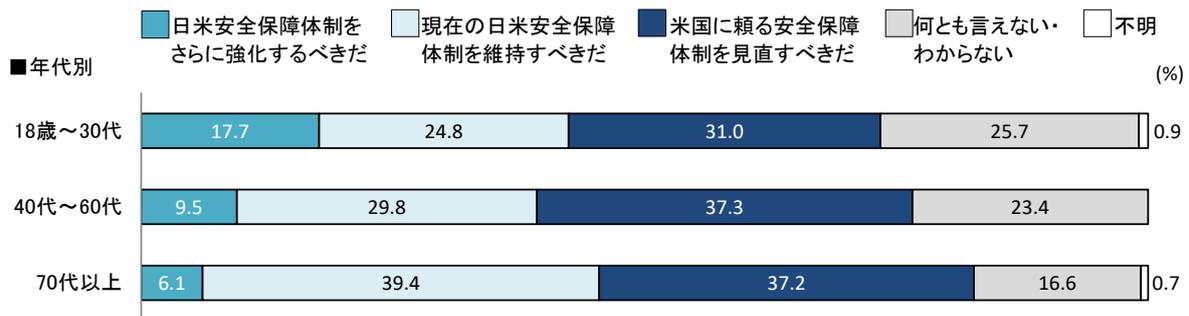
◆ 「見直すべき」36%

集計表76ページ

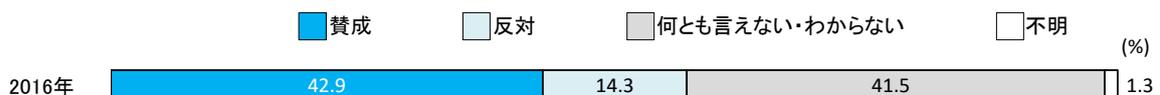
今後の日米安全保障体制がどうあるべきかを聞いたところ、「米国に頼る安全保障体制を見直すべきだ」が36.3%を占めた。続いて「現在の日米安全保障体制を維持すべきだ」が32.6%で続き、「日米安全保障体制をさらに強化すべきだ」は9.5%だった。「何とも言えない・わからない」は21.2%だった。年代別にみると、「見直すべき」は70代以上が37.2%、40代～60代が37.3%、18歳～30代が31.0%と若い年代がやや低い結果となった。



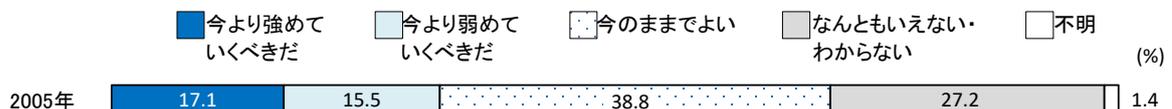
(注) 質問や選択肢が異なるため一概に比較できないが、当協会調査「戦後60年と憲法」(2005年)では、日米安全保障体制の今後について聞いたところ、「今より強めていくべきだ」が17.1%、「今より弱めていくべきだ」が15.5%、「今のままでよい」が38.8%、「なんともいえない・わからない」が27.2%。同じく当協会調査「憲法公布70年」(2016年)で政治課題の受け止めとして「日米安全保障体制の強化」について聞いたところ、「賛成」が42.9%、「反対」が14.3%、「何とも言えない・わからない」が41.5%だった。



◆ 日米安全保障体制の強化について



◆ 日米安全保障体制の今後について



防衛費増額方針への賛否は

問 25 日本政府は防衛費と関連経費を2027年度にGDP比2%に増やす方針を決めています。あなたはこの方針に対してどう考えていますか。

◆ 「賛成」42%、「反対」35%

集計表77ページ

防衛費と関連経費を2027年度にGDP比2%に増やす政府方針について聞いたところ、「大いに賛成だ」8.1%と「ある程度賛成だ」33.8%を合わせた「賛成」は41.9%で、4割を超えた。「あまり賛成していない」25.6%と「大いに反対だ」9.1%を合わせた「反対」は34.7%だった。「何とも言えない・わからない」は23.1%だった。



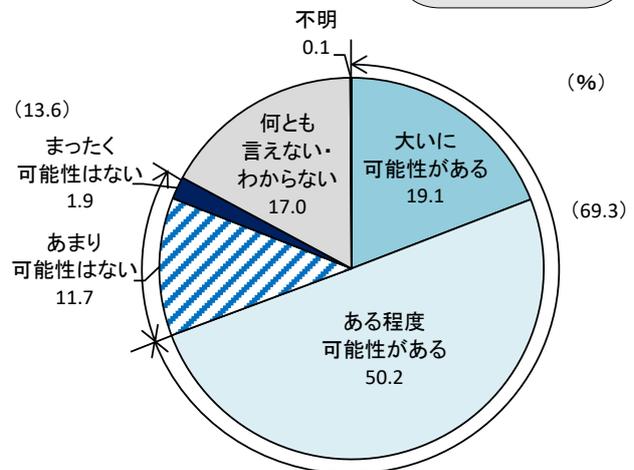
日本を巻き込んだ戦争が将来起きる可能性は

問 26 あなたは将来、日本を巻き込んだ戦争が起きる可能性があると思いますか。

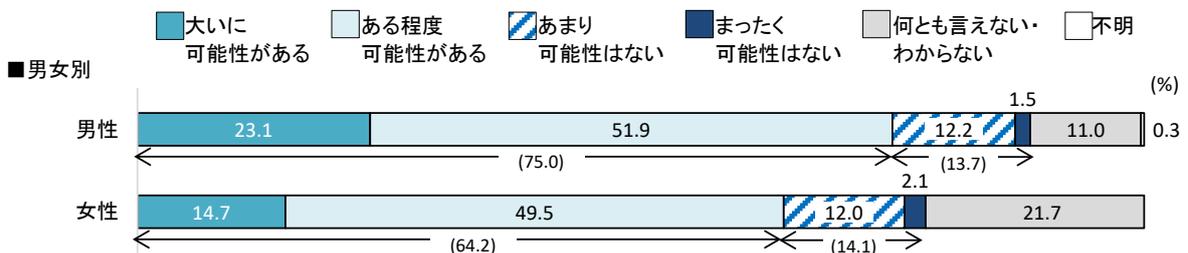
◆ 「可能性がある」ほぼ7割

集計表78ページ

将来、日本を巻き込んだ戦争が起きる可能性を聞いたところ、「大いに可能性がある」が19.1%、「ある程度可能性がある」が50.2%で、2つを合わせた「可能性がある」は69.3%と7割近くに達した。「あまり可能性はない」11.7%、「まったく可能性はない」1.9%を合わせた「可能性はない」は13.6%。「何とも言えない・わからない」は17.0%だった。



男女別にみると、「可能性がある」は男性が75.0%で、女性の64.2%を10.8ポイント上回った。年代別にみると、「可能性がある」は18歳～30代が78.8%、40代～60代が72.2%、70代以上が61.7%と、若い年代ほど日本を巻き込んだ戦争が起きる可能性を強く感じている結果となった。



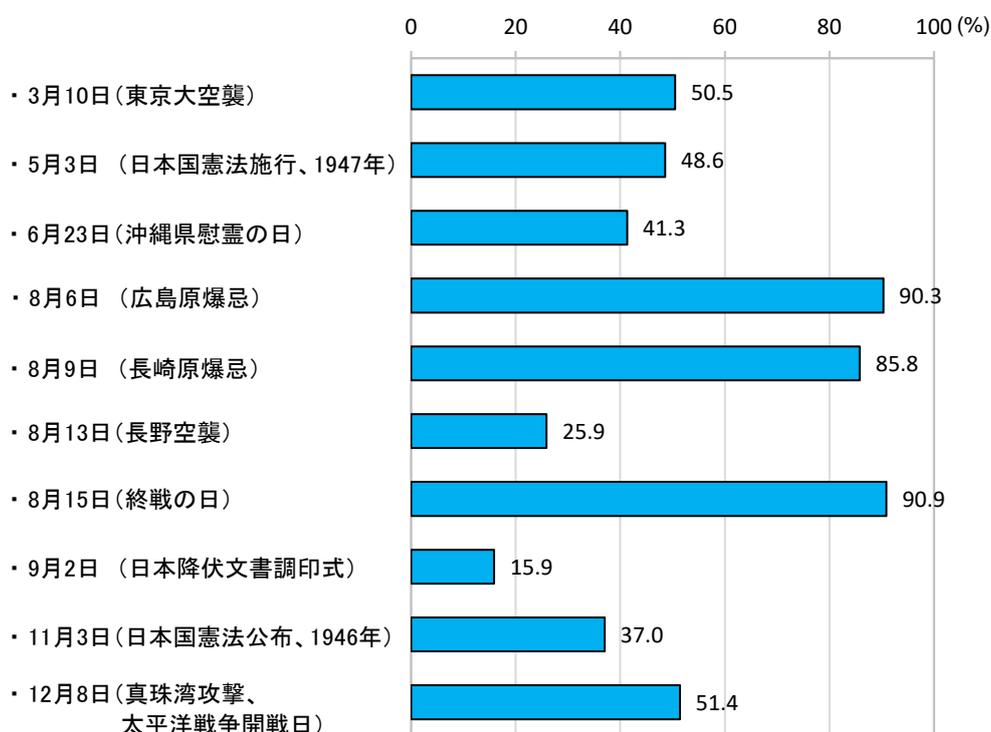
太平洋戦争に関係のある日を知っていますか

問 27 あなたは、太平洋戦争に関係のある次の日を知っていますか。

◆終戦の日 91%、広島原爆忌 90%、長野空襲は 26%

集計表79ページ

太平洋戦争に関係のある日を知っているか聞いたところ、8月15日（終戦の日）が90.9%と最も高く、続いて8月6日（広島原爆忌）90.3%、8月9日（長崎原爆忌）85.8%と続いた。12月8日（真珠湾攻撃、太平洋戦争開戦日）は51.4%、3月10日（東京大空襲）が50.5%、5月3日（日本国憲法施行）が48.6%で5割前後となった。長野県内では最大の被害となる47人の犠牲者を出したとされる長野市への空襲があった8月13日（長野空襲）は25.9%だった。



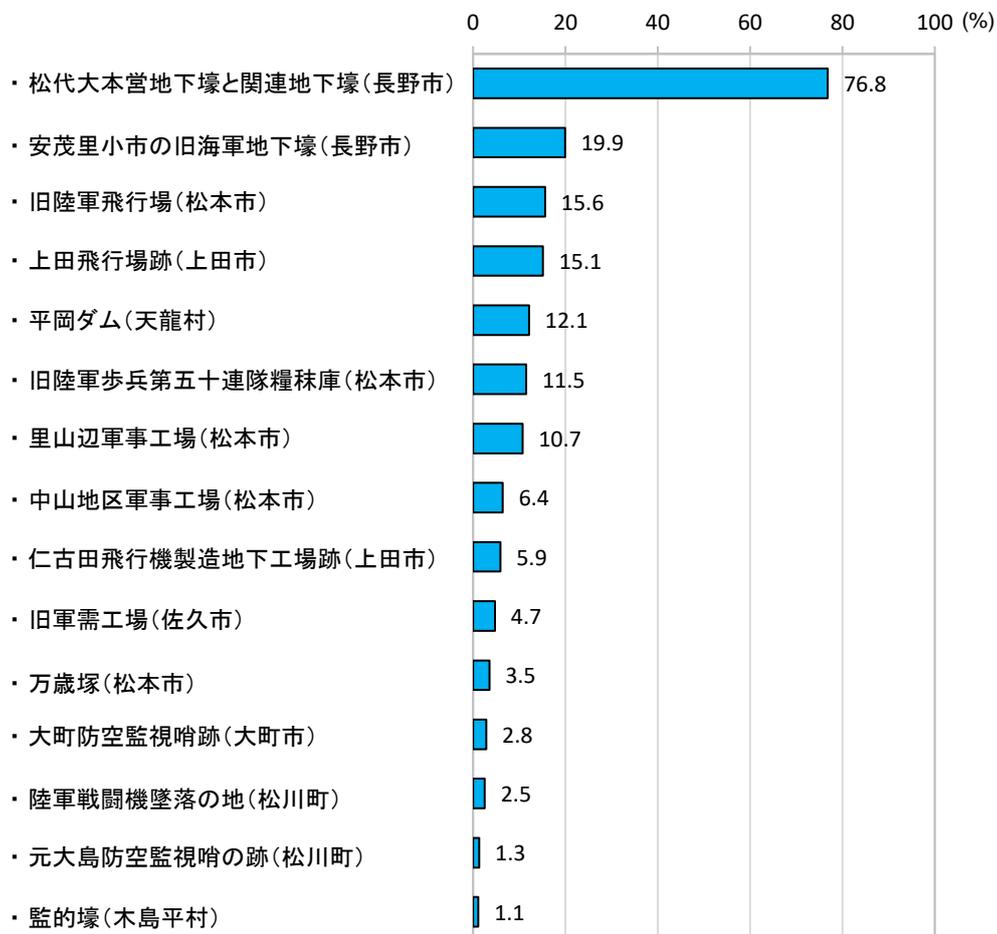
長野県内の戦争遺跡を知っていますか

問28 太平洋戦争を経験した世代が減少する中、歴史を継承していくために戦争遺跡を保存・活用すべきだとの意見があります。あなたは以下に示した長野県内の主な戦争遺跡のうち、存在を知っていた遺跡を挙げてください。

◆ 長野市の松代大本営 77%、松本市の五十連隊糧秣庫 12%

集計表80ページ

長野県内の戦争遺跡の存在について知っているか聞いたところ、「松代大本営地下壕と関連地下壕」(長野市)が76.8%と最も高く、7割超に達した。一方で、知っている割合の2番目以降はすべて2割に満たず、「安茂里小市の旧海軍地下壕」(長野市)19.9%、旧陸軍飛行場(松本市)15.6%、上田飛行場跡(上田市)15.1%、平岡ダム(天龍村)12.1%、旧陸軍歩兵第五十連隊糧秣庫(松本市)11.5%、里山辺軍事工場(松本市)10.7%と続き、それ以外は1割に満たなかった。太平洋戦争の歴史を継承する戦争遺跡の存在が長野市の松代大本営を除いて、県民の記憶に浸透していない状況がうかがえる。



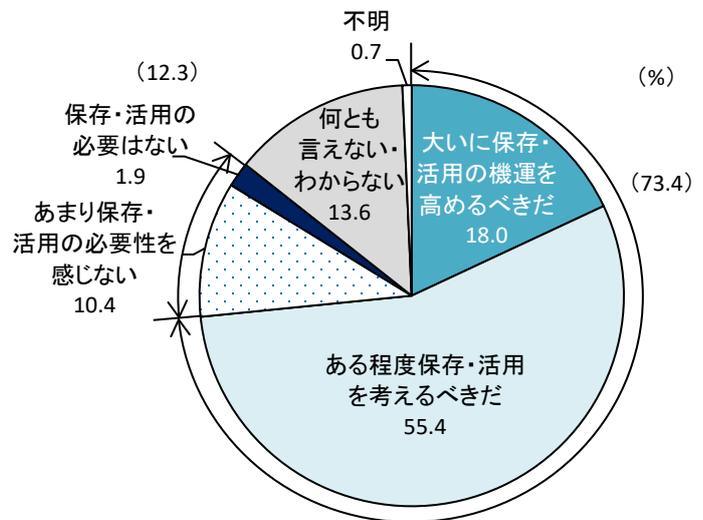
長野県内の戦争遺跡の保存・活用をどう考えるか

問 29 太平洋戦争関連の戦争遺跡について、文化庁の近代遺跡調査で全国から報告のあった642遺跡の約3割が消失または大部分消失していることが昨年わかりました。長野県内では松代大本営地下壕などが現存していますが、松本市の中山地区軍事工場などは大部分が消失していました。戦争遺跡の保存・活用について、あなたはどのように考えますか。

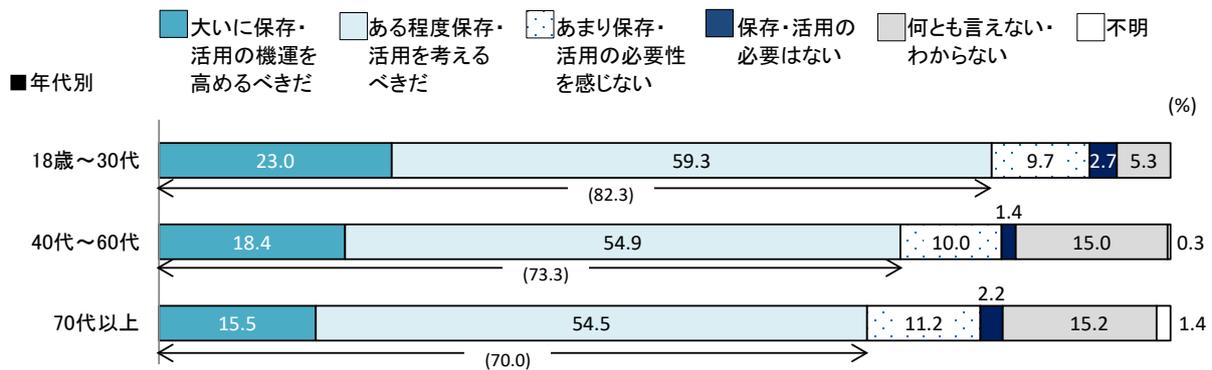
◆ 「ある程度考えるべきだ」55%

集計表81ページ

長野県内の戦争遺跡の保存・活用について聞いたところ、「ある程度保存・活用を考えるべきだ」が55.4%と最も多く、「大いに保存・活用の機運を高めるべきだ」の18.0%を合わせた積極派は73.4%に達した。「あまり保存・活用の必要性を感じない」の10.4%、「保存・活用の必要はない」の1.9%を合わせた慎重派は12.3%。問28で長野県内の戦争遺跡が県民の記憶に浸透していない状況がうかがえる一方で、戦争遺跡の保存・活用を望む積極派が7割を超えることも見えた。



年代別にみると、積極派は18歳～30代が82.3%と8割を超え、40代～60代は73.3%、70代以上は70.0%だった。



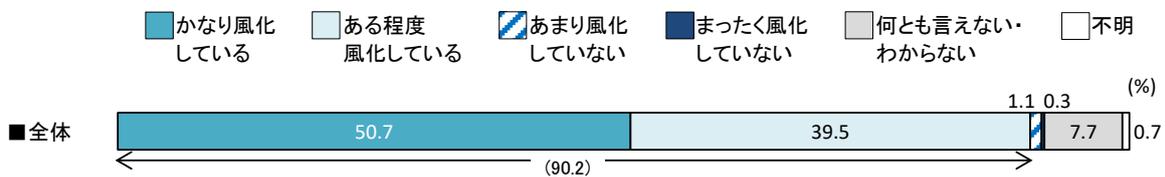
満蒙開拓の歴史、戦争の記憶は風化しているか

問 30 長野県では戦時下に都道府県別で最も多い3万3千人が満州（現中国東北部）へ開拓団員として送り出された歴史があります。戦後80年となり、戦争の記憶の継承が難しくなっているとされます。あなたは戦争の歴史が風化していると感じますか。

◆ 「風化している」9割

集計表82ページ

戦後80年となり満蒙開拓の歴史、戦争の記録が風化しているかを聞いたところ、「かなり風化している」が50.7%で半数を超え、「ある程度風化している」の39.5%を合わせた「風化している」は90.2%に達し、9割を超えた。「あまり風化していない」は1.1%にとどまり、「まったく風化していない」はわずか0.3%。戦争の記憶が風化しているとの認識が圧倒的多数を占めた。



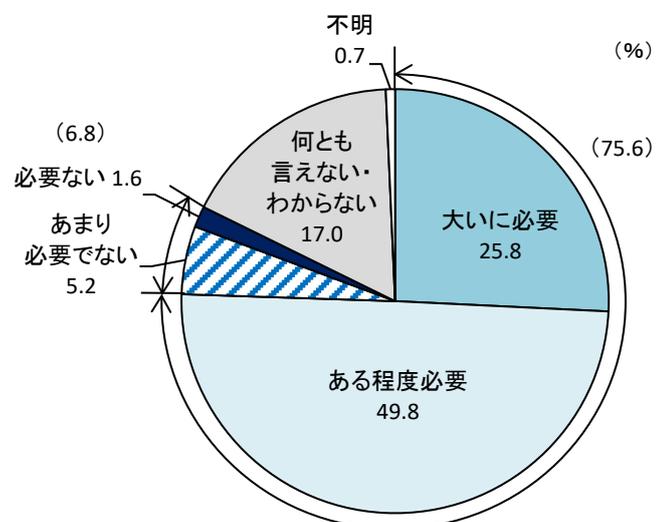
満蒙開拓の歴史や記憶の継承をどう考えるか

問 31 下伊那郡阿智村の満蒙開拓平和記念館では、続けてきた語り部講演を体験者の減少と高齢化を理由に昨年で一区切りとし、今年からその家族や2世、3世による歴史継承事業に取り組んでいます。あなたは長野県の満蒙開拓の歴史や記憶の継承について、どう考えますか。

◆ 「大いに必要」26%、「ある程度必要」50%

集計表83ページ

満蒙開拓の歴史や記憶の継承についての考えを聞いたところ、「大いに必要」が25.8%、「ある程度必要」が49.8%となり、2つを合わせた「必要」は75.6%に達した。「あまり必要でない」が5.2%、「必要ない」は1.6%だった。「何とも言えない・わからない」は17.0%だった。



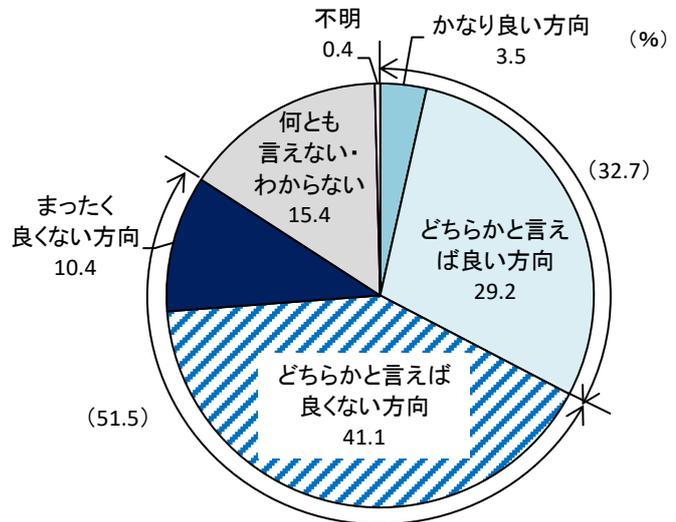
日本は「良い方向」「良くない方向」どちらに向かっているか

問 32 あなたは、戦後80年となり、平和や経済など全般的に日本は、「良い方向」「良くない方向」のどちらに向かっていると思いますか。

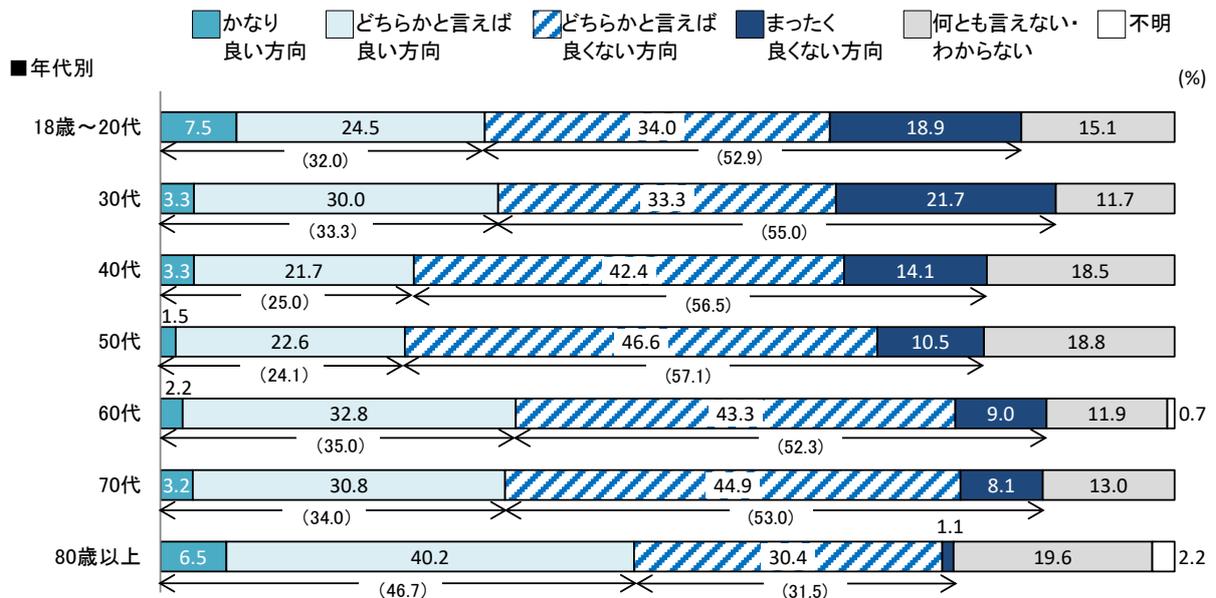
◆ 「良い方向」33%、「良くない方向」52%

集計表84ページ

戦後80年となり平和や経済など日本が全般的に「良い方向」「良くない方向」どちらに向かっているか聞いたところ、「どちらかと言えば良くない」41.1%、「まったく良くない方向」10.4%を合わせ、「良くない方向」に進んでいるとしたのは51.5%と半数を超えた。「かなり良い方向」3.5%、「どちらかと言えば良い方向」29.2%を合わせた「良い方向」に進んでいるとしたのは32.7%だった。「何とも言えない・わからない」は15.4%。



年代別にみると、「良くない方向」は、18歳から70代までの年代で5割を超えた。一方で80歳以上は「良くない方向」が31.5%にとどまり、「良い方向」(46.7%)が上回った。



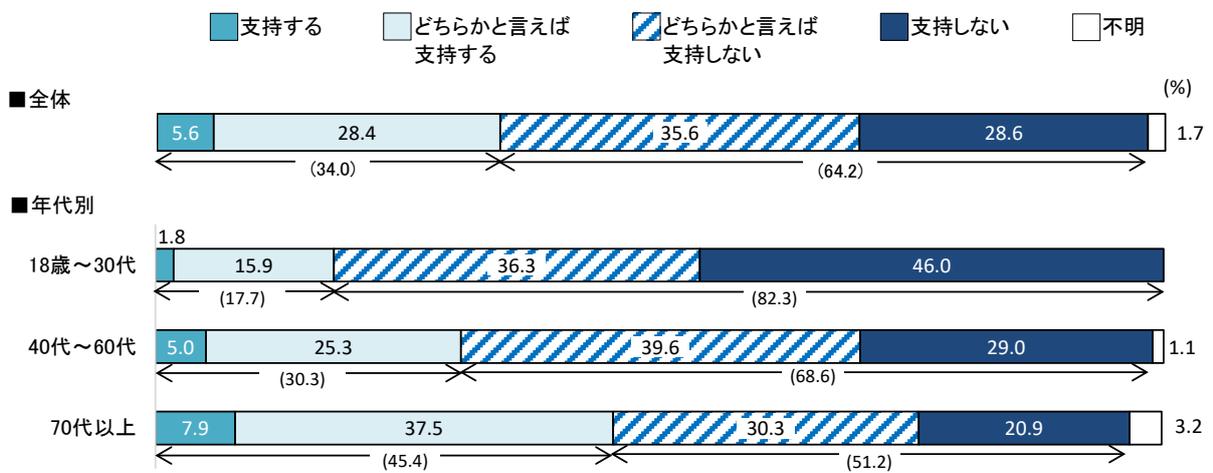
石破内閣を支持するか

問 33 あなたは、石破内閣を支持しますか。

集計表85ページ

◆ 「支持」34%、「不支持」64%

石破内閣を支持するか支持しないかを聞いたところ、「どちらかと言えば支持しない」35.6%、「支持しない」28.6%を合わせた不支持は64.2%となった。「支持する」(5.6%)と「どちらかと言えば支持する」(28.4%)を合わせた支持は34.0%となった。年代別にみると、不支持は18歳～30代で82.3%と高く、40代～60代が68.6%、70代以上が51.2%だった。



憲法改正への考え方は参院選投票先の判断材料にするか

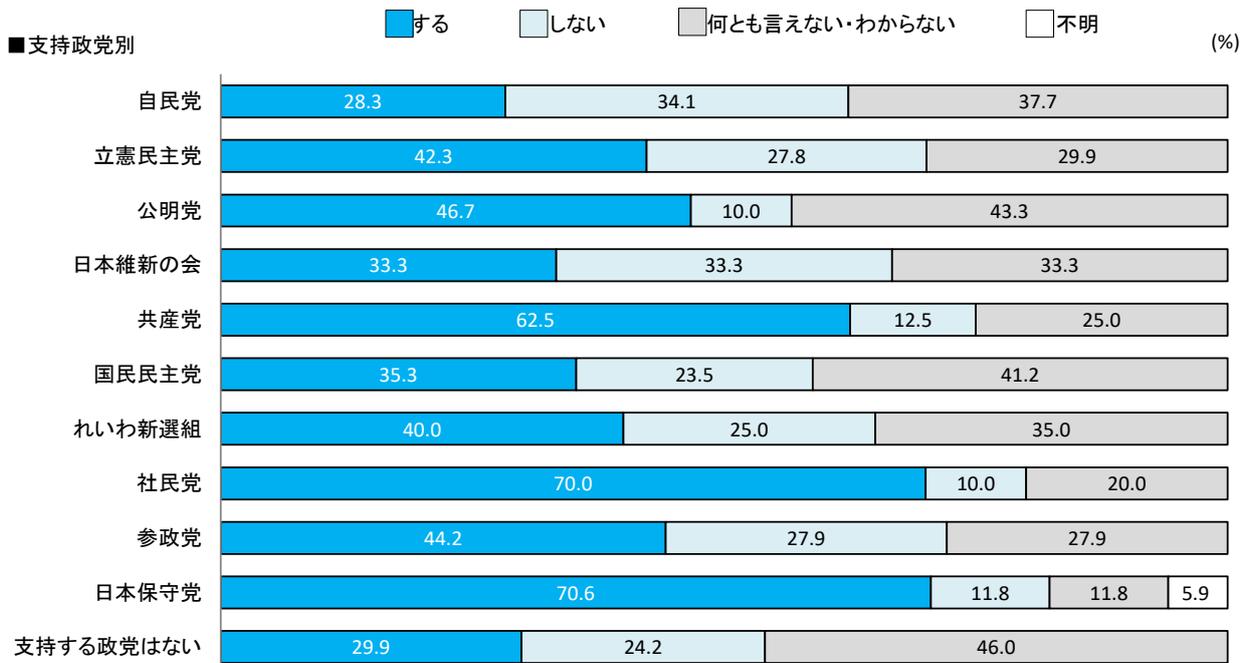
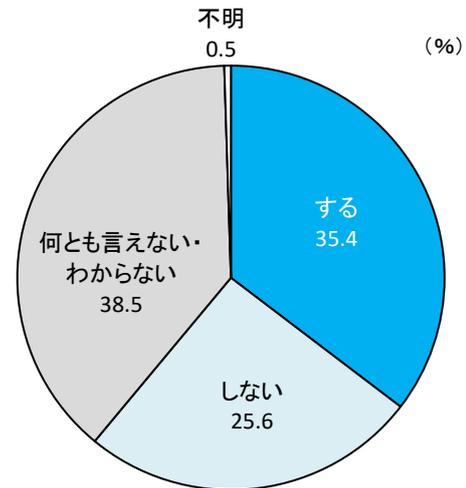
問 34 今年夏に参院選があります。あなたは、投票する候補者や政党を決めるときに、憲法改正への考え方を判断材料にしますか、しませんか。

◆ 「する」35%、「しない」26%、留保39%

集計表86ページ

憲法改正への考え方について今夏実施の参院選投票先の判断材料にするかを聞いたところ、「する」が35.4%、「しない」が25.6%となり、「する」が「しない」を9.8ポイント上回った。「何とも言えない・わからない」が最多となる38.5%を占めた。

支持政党別にみると、自民党支持層のうち「する」と回答した人は28.3%で、「しない」の34.1%を5.8ポイント下回った。「する」が「しない」を下回ったのは自民党支持層が唯一。他の政党支持層をみると、「する」と回答した割合が高かったのは日本保守党支持層（70.6%）、社民党支持層（70.0%）で、サンプル数が少ないので参考値ではあるが、いずれも7割に達した。立憲民主党支持層は42.3%、無党派層は29.9%だった。



支持政党

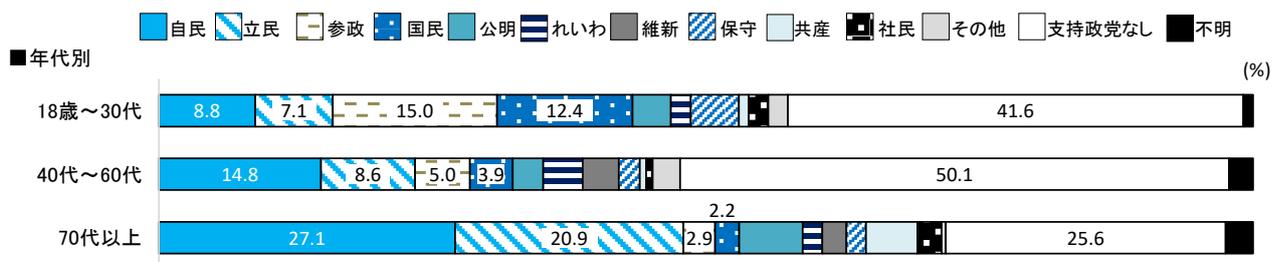
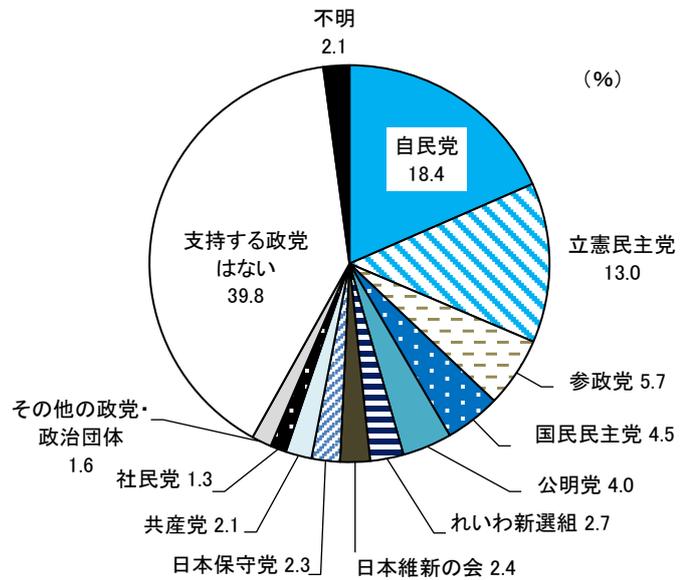
問 35 あなたは、どの政党を支持していますか。

◆ 自民 18%、立憲民主 13%、支持政党なし 40%

集計表87ページ

政党支持率は自民党が 18.4%、立憲民主党が 13.0%。続いて参政党が 5.7%、国民民主党が 4.5%、公明党が 4.0%。他は 3%未満で、支持する政党はないが 39.8%と最も高かった。

年代別にみると、自民党支持層は 70 代以上の 27.1%、40 代～60 代の 14.8%、18 歳～30 代の 8.8%を占め、年代が上がるほど高い傾向。立憲民主党も同じ傾向がみられた。今夏の参院選で議席を大幅に伸ばした国民民主党と参政党の支持層は、18 歳～30 代でそれぞれ 12.4%、15.0%を占め、自民党、立憲民主党の支持層の割合を大きく上回った。



Ⅲ 調査票

＜ご回答に際してのお願い＞

- ❖ 封筒の宛名に書かれたご本人様のご回答をお願い致します。
- ❖ ご回答は右端の□の中に数字をご記入ください。
- ❖ ご回答の内容によって、質問をとばしていただく場合があります。その場合は、指示に従ってお進みください。
- ❖ 「その他」に該当する場合は、()の中に具体的内容をご記入ください。

問1 日本国憲法は、前文と第11章103条からなっています。あなたは、日本国憲法を一部でも読んだことがありますか。

- ① 読んだことがある → 問2、3へ
② 読んだことはない → 問3へ

問2 (問1で①とお答えの方にお尋ねします)

あなたが、読んだことがあるのはどの項目ですか。読んだことがあるものすべて挙げてください。(該当する番号の左側に○印をお付けください)

<input type="checkbox"/>	① 前文	<input type="checkbox"/>	⑦ 第六章 司法
<input type="checkbox"/>	② 第一章 天皇	<input type="checkbox"/>	⑧ 第七章 財政
<input type="checkbox"/>	③ 第二章 戦争の放棄	<input type="checkbox"/>	⑨ 第八章 地方自治
<input type="checkbox"/>	④ 第三章 国民の権利及び義務	<input type="checkbox"/>	⑩ 第九章 改正
<input type="checkbox"/>	⑤ 第四章 国会	<input type="checkbox"/>	⑪ 第十章 最高法規
<input type="checkbox"/>	⑥ 第五章 内閣	<input type="checkbox"/>	⑫ 第十一章 補則

(全員の方にお尋ねします)

問3 あなたは、憲法をめぐる動きや内容に関心がありますか。

- ① かなりある
② どちらかと言えばある
③ どちらかと言えばない
④ ほとんどない
⑤ 何とも言えない・わからない

問 4 あなたは、これまで憲法に関する知識や情報を、主として何から得ましたか。あるいは得ていますか。次の中から、2つ以内に絞ってお答えください。

- ① 家族や友人から
- ② 学校の授業で
- ③ 本や資料を読んで
- ④ 講演などの集まりで
- ⑤ 新聞やテレビで
- ⑥ インターネットから
- ⑦ その他 ()
- ⑧ 特に得ていない

問 5 あなたは、今の憲法は全体として見ると、よい憲法だと思いますか、思いませんか。

- ① よい憲法だと思う
- ② よい憲法だと思わない
- ③ どちらとも言えない
- ④ わからない

--

問 6 憲法には、国民主権、平和主義、基本的人権の尊重の3原則があります。あなたは、今の日本では、この3原則が尊重されていると思いますか、思いませんか。それぞれについて該当する番号に○をお付けください。

		と さ 大 い に 尊 重 思 わ れ て い る	と さ あ る 程 度 尊 重 思 わ れ て い る	と さ あ ま り 尊 重 思 わ れ て い る	と さ ま つ た く 尊 重 思 わ れ て い る	わ か ら な い ・ 言 え な い ・ 何 と も
A	国民主権	①	②	③	④	⑤
B	平和主義	①	②	③	④	⑤
C	基本的人権	①	②	③	④	⑤

問 7 今の日本では、言論や出版の自由はよく守られていると思いますか、守られていないと思いますか。

- ① 守られている
- ② 守られていない
- ③ 一概に言えない
- ④ わからない

--

問 8 あなたは、今の憲法を改正する必要があると思いますか。

- ① 改正する必要がある → 問 9、10 へ
- ② どちらかと言えば改正する必要がある → 問 9、10 へ
- ③ どちらかと言えば改正する必要はない → 問 10 へ
- ④ 改正する必要はない → 問 10 へ
- ⑤ 何とも言えない・わからない → 問 10 へ

--

問9 (問8で①・②とお答えの方にお尋ねします)

憲法を改正するとしたら、あなたは、どの項目に注目しますか。

次の中から、2つ以内に絞ってお答えください。

- | | |
|-------------|---------|
| ① 前文 | ⑦ 司法 |
| ② 天皇 | ⑧ 財政 |
| ③ 戦争の放棄 | ⑨ 地方自治 |
| ④ 国民の権利及び義務 | ⑩ その他 |
| ⑤ 国会 | () |
| ⑥ 内閣 | ⑪ わからない |

(問8のお答えにかかわらず、全員の方にお尋ねします)

問10 「改正する必要がある」という理由として、次のA・Bのような考え方について、あなたは、どう思いますか。該当する番号に○をお付けください。

		そう 思う	思 わ な い	そ う は わ か ら な い	何 と も 言 え な い
A	憲法の規定が実態に合わなくなっているから	①	②	③	
B	米国に押し付けられた憲法だから	①	②	③	

問11 「改正する必要はない」という理由として、次のA・Bのような考え方について、あなたは、どう思いますか。該当する番号に○をお付けください。

		そう 思う	思 わ な い	そ う は わ か ら な い	何 と も 言 え な い
A	平和主義を掲げているから	①	②	③	
B	現憲法で不都合なことはないから	①	②	③	

問12 「知る権利」「プライバシー権」「環境権」などの、新しい権利を憲法に加えるべきだという意見があります。あなたは、どう思いますか。

- ① 憲法を変えて盛り込むべきだ
- ② 法律や制度を充実させ、憲法を変える必要はない
- ③ 憲法、法律や制度も今のままでよい
- ④ 何とも言えない・わからない

--

問13 あなたは、憲法第9条（戦争の放棄）（※）を改正する必要について、どう思いますか。

- ① 改正する必要がある
- ② 改正する必要はない
- ③ 何とも言えない・わからない

（※）憲法9条【戦争の放棄、戦力及び交戦権の否認】

- ①日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
- ②前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

（問13 のお答えにかかわらず、全員の方にお尋ねします）

問14 憲法第9条を「改正する必要がある」という理由として、次のA～Dのような考え方について、あなたは、どう思いますか。該当する番号に○をお付けください。

		そう 思う	そう は 思 わ な い	何 と も 言 え な い ・ わ か ら な い
A	「自衛権と戦力の保持」を明記するべきだから	①	②	③
B	国際的役割として、海外での武力行使をできるようにするべきだから	①	②	③
C	自衛隊の役割や増強に、歯止めとなる規定を設けるべきだから	①	②	③
D	自衛隊の位置づけを明記するべきだから	①	②	③

問15 憲法第9条を「改正する必要はない」という理由として、次のA～Dのような考え方について、あなたは、どう思いますか。該当する番号に○をお付けください。

		そう 思う	そう は 思 わ な い	何 と も 言 え な い ・ わ か ら な い
A	戦争放棄を掲げているから	①	②	③
B	改正すれば、海外での武力行使の歯止めがなくなるから	①	②	③
C	改正でなく、憲法解釈の変更で対応できるから	①	②	③
D	軍備の増強につながるから	①	②	③

問16 憲法改正については、大規模災害や武力攻撃を受けた際などに政府の権限を一時的に強化し、国会議員の任期延長など特別な措置を講じる規定「緊急事態条項」の創設が議論されています。あなたは緊急事態条項の創設についてどう考えますか。

- ① 賛成する
- ② どちらかと言えば賛成する
- ③ どちらかと言えば反対する
- ④ 反対する
- ⑤ 何とも言えない・わからない

問17 政府は2022年に国家安全保障戦略など安保関連3文書を策定し、他国領域のミサイル基地などを破壊する反撃能力（敵基地攻撃能力）保有を決定しました。これは集団的自衛権の行使を可能にした2015年成立の安全保障関連法に続く政策の大転換となりました。あなたはこの政策をどう受け止めていますか。

- ① 賛成している
- ② どちらかと言えば賛成している
- ③ どちらかと言えば反対している
- ④ 反対している
- ⑤ 何とも言えない・わからない

問18 自衛隊の存在には合憲、違憲の両論がありますが、あなたは、どう思いますか。

- ① 合憲だと思う
- ② 違憲だと思う
- ③ 何とも言えない・わからない

問19 あなたは、憲法改正に必要な手続きを知っていますか。

- ① 知っている
- ② 知らない

問20 では、憲法改正について、どう思いますか。

- ① できるだけ早く改正すべきだ
- ② 時間をかけて議論すべきだ
- ③ 改正の必要はない
- ④ 何とも言えない・わからない

問21 「最高法規として国家権力を制限し、国民の権利を保障する」という今の憲法の基本的な考え方を「立憲主義」といいます。あなたは、この立憲主義を知っていますか。

- ① 知っている
- ② 知らない

問22 では、憲法解釈や憲法改正を議論するにあたり、あなたは、この「立憲主義」について、どう思いますか。

- ① 重視すべきだ
- ② 重視する必要はない
- ③ その他 ()
- ④ 何とも言えない・わからない

問23 あなたは、今の憲法が戦後の日本の平和と繁栄に、どの程度役立ってきたと思いますか。

- ① かなり役立ってきた
- ② ある程度役立ってきた
- ③ あまり役立ってこなかった
- ④ まったく役立ってこなかった
- ⑤ 何とも言えない・わからない

問24 あなたは、これまで続いてきた日米安全保障体制について、今後どうあるべきだと考えますか。

- ① 日米安全保障体制をさらに強化すべきだ
- ② 現在の日米安全保障体制を維持すべきだ
- ③ 米国に頼る安全保障体制を見直すべきだ
- ④ 何とも言えない・わからない

問25 日本政府は防衛費と関連経費を2027年度にGDP比2%に増やす方針を決めています。あなたはこの方針に対してどう考えていますか。

- ① 大いに賛成だ
- ② ある程度賛成だ
- ③ あまり賛成していない
- ④ 大いに反対だ
- ⑤ 何とも言えない・わからない

問26 あなたは将来、日本を巻き込んだ戦争が起きる可能性があると思いますか。

- ① 大いに可能性がある
- ② ある程度可能性がある
- ③ あまり可能性はない
- ④ まったく可能性はない
- ⑤ 何とも言えない・わからない

問27 あなたは、太平洋戦争に関係のある次の日を知っていますか。知っているもの全てに○を付けてください。(該当する番号の左側に○をお付けください)

- | | |
|--------------------------|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> | ① 3月10日 (東京大空襲) |
| <input type="checkbox"/> | ② 5月3日 (日本国憲法施行、1947年) |
| <input type="checkbox"/> | ③ 6月23日 (沖縄県慰霊の日) |
| <input type="checkbox"/> | ④ 8月6日 (広島原爆忌) |
| <input type="checkbox"/> | ⑤ 8月9日 (長崎原爆忌) |
| <input type="checkbox"/> | ⑥ 8月13日 (長野空襲) |
| <input type="checkbox"/> | ⑦ 8月15日 (終戦の日) |
| <input type="checkbox"/> | ⑧ 9月2日 (日本降伏文書調印式) |
| <input type="checkbox"/> | ⑨ 11月3日 (日本国憲法公布、1946年) |
| <input type="checkbox"/> | ⑩ 12月8日 (真珠湾攻撃、太平洋戦争開戦日) |

問28 太平洋戦争を経験した世代が減少する中、歴史を継承していくために戦争遺跡を保存・活用すべきだとの意見があります。あなたは以下に示した長野県内の主な戦争遺跡のうち、存在を知っていた遺跡を挙げてください。

(該当する番号の左側に○印をお付けください)

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| <input type="checkbox"/> | ① 松代大本営地下壕と関連地下壕 (長野市) |
| <input type="checkbox"/> | ② 安茂里小市の旧海軍地下壕 (長野市) |
| <input type="checkbox"/> | ③ 旧陸軍歩兵第五十連隊糧秣庫 (松本市) |
| <input type="checkbox"/> | ④ 里山辺軍事工場 (松本市) |
| <input type="checkbox"/> | ⑤ 中山地区軍事工場 (松本市) |
| <input type="checkbox"/> | ⑥ 旧陸軍飛行場 (松本市) |
| <input type="checkbox"/> | ⑦ 万歳塚 (松本市) |
| <input type="checkbox"/> | ⑧ 大町防空監視哨跡 (大町市) |
| <input type="checkbox"/> | ⑨ 上田飛行場跡 (上田市) |
| <input type="checkbox"/> | ⑩ 仁古田飛行機製造地下工場跡 (上田市) |
| <input type="checkbox"/> | ⑪ 旧軍需工場 (佐久市) |
| <input type="checkbox"/> | ⑫ 陸軍戦闘機墜落の地 (松川町) |
| <input type="checkbox"/> | ⑬ 元大島防空監視哨の跡 (松川町) |
| <input type="checkbox"/> | ⑭ 監的壕 (木島平村) |
| <input type="checkbox"/> | ⑮ 平岡ダム (天龍村) |
| <input type="checkbox"/> | ⑯ その他 () |

問29 太平洋戦争関連の戦争遺跡について、文化庁の近代遺跡調査で全国から報告のあった642遺跡の約3割が消失または大部分消失していることが昨年わかりました。長野県内では松代大本営地下壕などが現存していますが、松本市の中山地区軍事工場などは大部分が消失していました。戦争遺跡の保存・活用について、あなたはどのように考えますか。

- ① 大いに保存・活用の機運を高めるべきだ
- ② ある程度保存・活用を考えるべきだ
- ③ あまり保存・活用の必要性を感じない
- ④ 保存・活用の必要はない
- ⑤ 何とも言えない・わからない

問30 長野県では戦時下に都道府県別で最も多い3万3千人が満州（現中国東北部）へ開拓団員として送り出された歴史があります。戦後80年となり、戦争の記憶の継承が難しくなっているとされます。あなたは戦争の歴史が風化していると感じますか。

- ① かなり風化している
- ② ある程度風化している
- ③ あまり風化していない
- ④ まったく風化していない
- ⑤ 何とも言えない・わからない

問31 下伊那郡阿智村の満蒙開拓平和記念館では、続けてきた語り部講演を体験者の減少と高齢化を理由に昨年で一区切りとし、今年からその家族や2世、3世による歴史継承事業に取り組んでいます。あなたは長野県の満蒙開拓の歴史や記憶の継承について、どう考えますか。

- ① 大いに必要
- ② ある程度必要
- ③ あまり必要でない
- ④ 必要ない
- ⑤ 何とも言えない・わからない

問32 あなたは、戦後80年となり、平和や経済など全般的に日本は、「良い方向」「良くない方向」のどちらに向かっていると思いますか。

- ① かなり良い方向
- ② どちらかと言えば良い方向
- ③ どちらかと言えば良くない方向
- ④ まったく良くない方向
- ⑤ 何とも言えない・わからない

問33 あなたは、石破内閣を支持しますか。

- ① 支持する
- ② どちらかと言えば支持する
- ③ どちらかと言えば支持しない
- ④ 支持しない

問34 今年夏に参院選があります。あなたは、投票する候補者や政党を決めるときに、憲法改正への考え方を判断材料にしますか、しませんか。

- ① する
- ② しない
- ③ 何とも言えない・わからない

問35 あなたは、どの政党を支持していますか。

- | | |
|----------|---------------|
| ① 自民党 | ⑦ れいわ新選組 |
| ② 立憲民主党 | ⑧ 社民党 |
| ③ 公明党 | ⑨ 参政党 |
| ④ 日本維新の会 | ⑩ 日本保守党 |
| ⑤ 共産党 | ⑪ その他の政党・政治団体 |
| ⑥ 国民民主党 | ⑫ 支持する政党はない |

＜ご協力ありがとうございます＞

これからお聞きする事柄は、結果をまとめる上で必要となります。
お手数ですが、以下の4項目のご回答もよろしくお願い致します。

F 1 あなたの性別 ① 男性 ② 女性 ③ 回答しない

F 2 あなたの年代 ① 10代 ⑤ 50代
② 20代 ⑥ 60代
③ 30代 ⑦ 70代
④ 40代 ⑧ 80歳以上

F 3 あなたの職業 ① 事務系、技術系従事者
② 現業・サービス業系従事者
③ 役員・管理職・自由業
④ 商工・自営業
⑤ 農・林・漁業
⑥ 専業主婦・主夫
⑦ パート・アルバイト
⑧ 学生（高校・高専・専門・大学・大学院・予備校など）
⑨ 無職
⑩ その他（ ）

F 4 現在の日本の社会の暮らし向きを6つに分けるとすれば、あなたの家庭はどのあたりに入りますか。

① 上の上 ② 上の下 ③ 中の上 ④ 中の下 ⑤ 下の上 ⑥ 下の下

本ホームページでは、報告書の一部を抜粋して掲載しています。長野県世論調査協会の会員の皆様には、報告書を郵送・電子メールでお届けしており、全ての調査結果をご覧いただくことができます。入会のお問い合わせは、[こちら](#)へどうぞ